



サーバー移行マニュアル

【ver1.2】

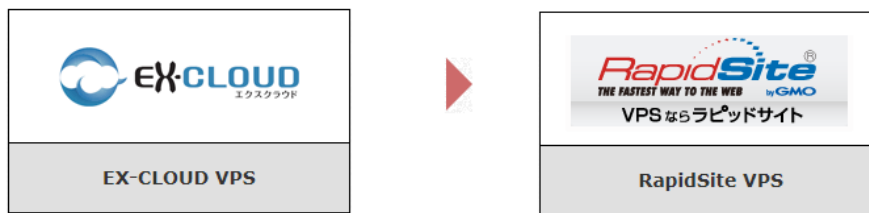
目次	1
新サーバーへの移行について	4
◆ サーバー移行の流れ	4
ご利用料金について	4
サーバー表記について	4
本マニュアルについて	5
新サーバーの仕様・機能一覧	6
新サーバーへのデータ移行状況について	6
1. 新サーバーの確認方法	7
1-1. 新サーバー管理画面について	7
1-2. マイアカウントページ ログイン方法【必須】	7
1-3. ログインパスワードの変更方法	8
1-4. マイアカウントページ 構成と名称	9
1-5. 新サーバーの情報を確認する	10
◆ 1-5-1. ユーザー情報の確認手順	10
◆ 1-5-2. 新サーバーのIP アドレス情報の確認手順	11
2. VPS メニュー 構成と名称	12
2-1. Plesk について	13
3. メールアカウントの移行について	14
3-1. 【重要】MTA 変更	14
◆ 3-1-1. Postfix の設定	14
◆ 3-1-2. qmail の設定	15
◆ 3-1-3. sendmail の設定	15
◆ 3-1-4. メールサーバー情報の確認 ※メールサーバー情報は、全ユーザー共通です	16
◆ 3-1-5. Web メールのご利用について	16
◆ 3-1-6. IMAP でのご利用について	17

3-2. メールソフトの設定	17
◆ Microsoft Outlook2013	18
◆ Microsoft Outlook2016	19
◆ Mozilla Thunderbird	20
◆ Windows10 メールアプリ	21
◆ Apple(Mac)Mail	22
◆ Gmail (PC 版)	24
3-3. 既存のメール設定の確認	26
◆ 3-3-2. 転送・自動応答・アンチスパム設定の確認	26
◆ 3-3-3. メール링グリスト・メールエイリアスの確認	26
◆ 3-3-4. Web メールについて	27
3-4. メールの内部配送について	28
4. Web コンテンツの移行について	29
4-1. Web コンテンツの移行範囲とご注意点	29
4-3. FTP アカウント情報について	29
4-4. DNS 切り替え前にホームページの表示や動作を確認する	30
◆ 4-4-1. hosts ファイルでの確認方法	30
◆ 4-4-2. hosts ファイルを保存しようとしてエラーがでる場合	31
4-5. Web 表示でエラーが発生する場合	32
4-6. データベース移行について(パスワードの再設定)	32
5. ドメインと DNS レコード管理機能【必須】	33
5-1. ドメインの管理について	33
5-2. DNS (ネームサーバー) の切り替えについて	34
◆ 弊社以外でドメインを管理されているお客さま	35
◆ 他社 DNS をご利用中のお客さま	35
◆ 新サーバーの DNS (ネームサーバー) へ切り替える ※弊社で管理中のドメイン	36
◆ 新サーバー以外の DNS (ネームサーバー) へ切り替える場合	36
5-3. DNS レコードの編集	37
5-4. DNS レコードの新規追加・削除	38
◆ TXT レコードの追加について (SPF 値を追加する)【必須】	39

5-5.IP アドレスを付け替える (Plesk をご利用のお客さま)	40
◆ Plesk12 で IP アドレスを付け替える	40
◆ Plesk11 で IP アドレスを付け替える	40
◆ Plesk12、Plesk11 IP 付け替え時のトラブルシューティング	41
◆ Plesk8 で IP アドレスの紐づけを変更する	43
6. お支払い方法の設定について【必須】	44
◆ お支払い方法についての変更点・注意事項	44
◆ 振り込み先のご変更について	44
◆ クレジットカードでのお支払い	45
◆ 銀行振込 (GMO あおぞらネット銀行) でのお支払い	45
◆ コンビニエンスストアでのお支払い	45
7. ご契約について【必須】	46
7-1. ご契約内容の確認方法	46
7-2. ご契約更新・解約方法について	47
◆ 更新・自動更新を行われる場合	47
◆ 解約を行われる場合	47
7-3. お客さま情報変更の手続き方法	48
7-4. 請求情報の確認方法	48
7-5. 請求書 (領収書) の発行方法	49
サポート・お問い合わせ窓口について	50

新サーバーへの移行について

「EX-CLOUD」は、サーバー老朽化による物理的な故障リスクや脆弱性によるセキュリティリスクへの対策として、新サーバーへの移行を実施いたします。大変お手数をおかけいたしますが、本マニュアルをご参照のうえ、移行作業にご協力くださいますようお願い申し上げます。



◆ サーバー移行の流れ

サーバー移行は、お客さまごとに実施時期が異なります。

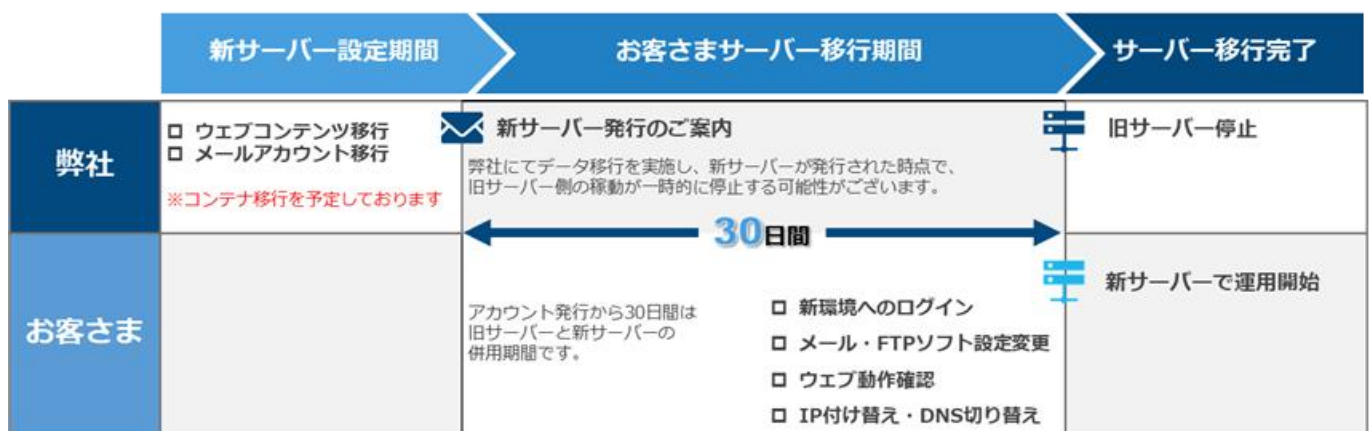
新サーバーの領域が完成後、個別にメールにてサーバー情報をご案内いたしますので、ご確認をお願いいたします。

新サーバー領域の完成から旧サーバー領域の停止までの期間は **30 日間**となります。

なお、新サーバーの領域作成後は、新サーバーにメールが届く可能性があるため、設定完了通知のメールが届きましたら、[メールソフトの設定] まではお早めにご対応くださいますよう、お願いいたします。

※新サーバーの領域作成後に新サーバーへメールが届く可能性については[こちら](#)をご覧ください。

※新サーバーに届くメールについては、Web メールでも受信有無の確認が行えます。[こちら](#)をご覧ください。



ご利用料金について

サーバー移行後も、現在ご契約中のプラン・ドメインのご利用料金につきましては、変更はございません。

なお、現在のご契約プランにつきましては、プラン変更は行えませんので、あらかじめご了承ください。

現在、新規お申し込み受付を一時的に停止しておりますが、今後、新たにお申し込みいただくプラン・ドメインのご利用料金につきましては、お申し込み受付再開時に改めてご連絡いたします。

サーバー表記について

本マニュアル内では、移行前サーバーと移行後のサーバーについて、下記のように表記しております。

EX-CLOUD VPS（移行前サーバー）：旧サーバー

EX-CLOUD VPS（移行先サーバー）：新サーバー

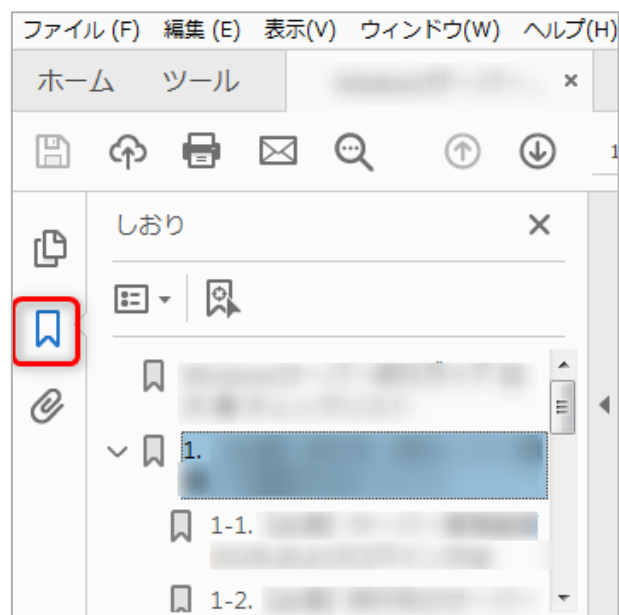
本マニュアルについて

本マニュアルは内容が多岐にわたるため、PDF で表示させる際に、「しおり」を表示していただくと、ご覧になりたい項目にすぐに移動することができます。

【Adobe Acrobat Reader DC】

Acrobat Reader DC で PDF を開きます。

画面左の『』のマークをクリックし、しおりを開くことができます。



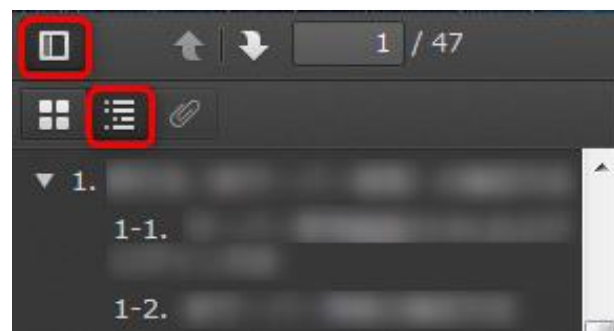
【Google Chrome】

Chrome で PDF を開いた際、画面右上に表示されるしおりのマークをクリックし、しおりを開くことができます。



【Fire Fox】

FireFox で PDF を開いた際、画面右上に表示されるしおりのマークをクリックし、しおりを開くことができます。



新サーバーの仕様・機能一覧

新サーバーの仕様・機能の一覧です。従来のサーバーでご利用いただけていたサービスにつきましても、新サーバーにてご利用いただけない機能なども一部ございます。あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。



https://support.gmocloud.com/faqimg/excloud_migrationSpec.pdf

新サーバーへのデータ移行状況について

コンテナマイグレを実施しておりますので、「IP アドレスの変更」「MTA 設定変更」が必要となります。それ以外の基本的な設定内容に変更はございません。※赤字 で記載されている箇所は、移行はされていますが、確認や再設定などお客さま作業が必要な項目となります。

※IP アドレスは変更されますが、サーバーへの SSH ログインユーザー名・パスワードは変更ございません。
また、Plesk 付のサーバーご契約についても、Plesk へのログインユーザー名・パスワードは変更ございません。

項目	移行 状況	お客さま作業
ご契約データお客さま情報 (社名・担当者名・住所・電話番号・メールアドレスなど)	○	移行済み ※新管理システムへのログインと、客さま情報のご確認 ※支払い方法（クレジットカード）のご登録
各ユーザーのアカウント名とパスワード	○	移行済み
メールアカウントとパスワード	○	移行済み
メール設定（メールデータ）	○	移行済み
メールアドレス転送設定	○	移行済み
迷惑メールフィルター	○	移行済み
自動返信メール	○	移行済み
ウェブメール	○	移行済み
メーリングリスト	○	移行済み
メールエイリアス	○	移行済み
FTP アカウント名と FTP サーバー情報	○	移行済み
ウェブコンテンツのデータ	○	移行済み ※差異確認、動作確認
データベース(MySQL)	○	移行済み ※差異確認、動作確認

1. 新サーバーの確認方法

1-1. 新サーバー管理画面について

新たなご契約管理システム (※1) は『[マイアカウントページ](#)』へ変更となります。

マイアカウントページでは、お客さまのアカウント情報の変更や、サーバーの設定など、弊社サーバーサービスをご利用いただくうえで必要な設定をすべて行うことができます。

※1…EX-CLOUD のお客さまは『CloudGarage』

1-2. マイアカウントページ ログイン方法 **【必須】**

ログインに必要な情報は、以下の件名にてメールでご案内いたします。本文内の【契約情報】をご確認ください。

■件名：【重要】【GMO クラウド】EX-CLOUD→新環境への移行完了とログイン情報のお知らせ

【契約情報】	
アカウントID	お客さまの顧客管理用のID
登録メールアドレス	お客さまのご登録メールアドレス
ユーザー名	お客さまのサインイン用メールアドレス (ユーザー名)

マイアカウントページ URL

<https://rsmgserver.net/cp/>

◆ 初回ログインパスワードの再設定について

初回ログイン時に、パスワードをお客さまご自身で再発行していただきます。

■ STEP1. [マイアカウントページ URL] にアクセスします。

■ STEP2. ログイン画面 [パスワードを忘れた場合] をクリック。

■ STEP3. パスワード再設定のウィンドウが開きます。

【Username (ユーザー名)】にごメールアドレスを入力して **【送信】** をクリック。

※パスワード再設定用メールが数分待っても届かない場合は、少しお時間を置いて「STEP2」の手順をお試しください。

■ STEP4. 入力したメールアドレス宛てにパスワード再設定のメールが届きますので、本文内の「パスワード再発行URL」をクリックし、新しいパスワードを再設定してください。

■件名：【GMO クラウド】パスワード再発行につきまして

※パスワードは**半角英大文字・小文字・数字・記号**を含む

7文字以上でご設定ください。

※パスワードは重要な情報となりますため、メモ等にお控えください。

※次回以降のログインの際、パスワードをお忘れになった場合は、同じ手順でパスワード再設定が可能です。

◆ パスワード再設定後のログイン

初回ログインパスワードを再設定後、ログイン画面に戻りますので、ログイン情報を入力します。

- ・「ユーザー名」に表示されているサインイン用メールアドレス
- ・再設定されたパスワード

ログインが完了すると、TOP 画面が表示されます。



1-3. ログインパスワードの変更方法

マイアカウントページのログインパスワードを変更される際は、以下の手順で変更が行えます。

■ STEP 1. マイアカウントページ [ホーム] > [ユーザー]

- > パスワードを変更したいユーザーを選択し
- > 「パスワードを変更」をクリック。



■ STEP 2. 「パスワードを変更」のウィンドウが開きます。

「新しいパスワード」フォームには自動生成されたパスワードが表示されます。

お客さまの任意の文字列でも設定が可能です。

フォームにパスワードを入力し、最後に

[OK] をクリックして保存します。



	パスワードを自動生成
	パスワードを表示する

1-4. マイアカウントページ 構成と名称

ログイン直後は、新管理システム「マイアカウントページ」のホーム画面が開きます。

主なメニューは左側のメニューバーに表示されます。

また、お客さま情報などは、右上に表示されるインフォメーションバーからご確認ください。



◆ インフォメーション

お客さまの「アカウント ID」や、操作やお手続きを行われた際の通知などが表示されます。

アカウント ID:	お客さまのご契約のアカウント ID が表示されます。
ヘルプ	【ヘルプ】 > 【サポート連絡先】 をクリックして 下記の EX-CLOUD 窓口のお問い合わせフォームを開きます。
お問い合わせ窓口	EX-CLOUD の お問い合わせフォーム が表示されます
FAQ	EX-CLOUD の「 よくあるご質問 」をご覧ください。
マニュアル	EX-CLOUD の マニュアル集 をご覧ください。
お知らせ & 障害情報	EX-CLOUD のサービスについて、 お知らせや障害情報 をご覧ください。
user name	【ユーザー】 > 【プロフィール】 をクリックしてユーザー設定の ページへ進みます。サインアウトもこちらから行えます。
!	お客さまのご契約について、RapidSite からのお知らせや 通知をご覧ください。
🔔	ご契約のサーバーに登録されているすべてのユーザーが実行した アクションログ（操作履歴）をご覧ください。

◆ メニューバー

 ホーム	ご契約サーバーに関する基本的な設定を行う画面です。 ウェブやメールの設定などの管理メニューが一覧で表示されます。
 ユーザー	ご契約サーバーの契約者情報を確認できます。 「マイアカウントページ」へログインするための、ユーザーの追加も行えます。
 サービス追加	RapidSite でご利用可能なサーバープラン・ドメインなどの お申し込みが可能です。
 VPS	契約プラン内容（IP アドレスやホスト名）の確認や ファイアーウォールの管理などができます。
 ドメイン	ご契約サーバーに設定中の『ドメイン名』が一覧で表示されます。 DNS レコードの管理・修正も、このメニューから行えます。
 アカウント	お客さまのご契約内容やご請求内容について確認ができます。 マイアカウントページへのログイン情報の変更なども行えます。

1-5. 新サーバーの情報を確認する

新サーバーには、旧サーバーに設定されていたのと同じユーザー情報が移行されておりますが、
念のため、正しく移行されているかどうかを、お客さまご自身でご確認いただくことをお勧めいたします。

※IP アドレスは変更されますが、サーバーへの SSH ログインユーザー名・パスワードは変更ございません。

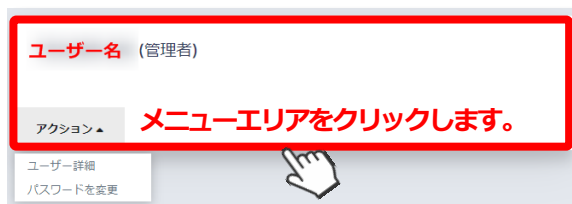
また、Plesk 付のサーバーご契約についても、Plesk へのログインユーザー名・パスワードは変更ございません。

◆ 1-5-1. ユーザー情報の確認手順

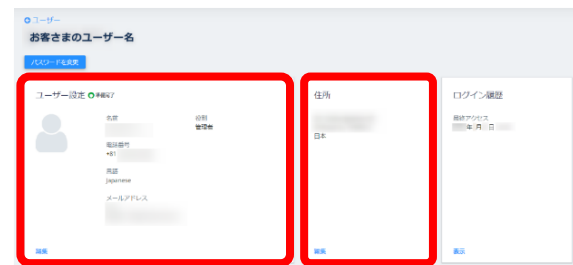
■ STEP 1. [ユーザー] > [ユーザー名] のエリア

または

[ユーザー] > [アクション] > [ユーザー詳細]
をクリックします。



■ STEP 2. [ユーザー設定]、[住所] の詳細をご確認ください。



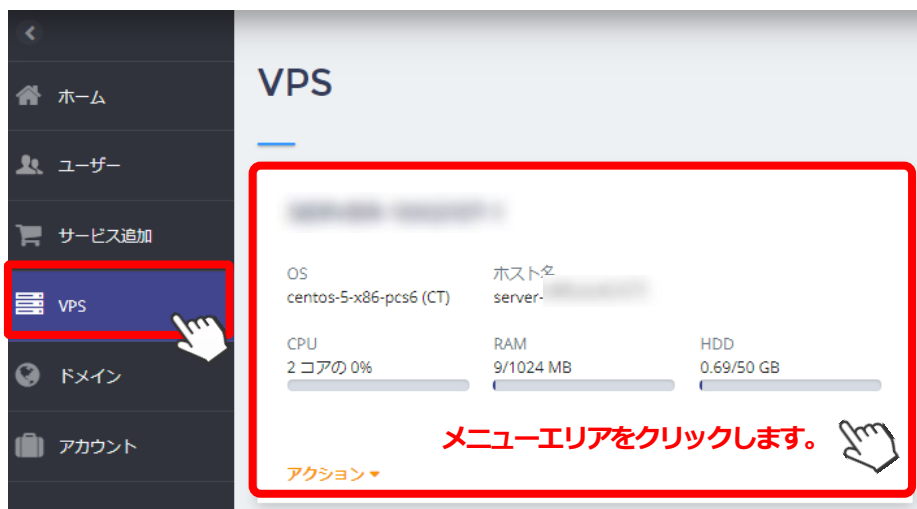
基本情報	
ユーザー名	マイアカウントページにログイン可能なユーザー
役割	管理者 / ユーザー のいずれか
メールアドレス	ログインに必要なメールアドレスです。旧サーバーの「アカウント情報」を引き継いでおります。

◆ 1-5-2.新サーバーのIP アドレス情報の確認手順

新サーバーでは、サーバーが変更されたため、IP アドレス情報が旧サーバーと異なっております。

サーバーのIP アドレス確認方法は、以下のとおりです。

- **STEP 1.** マイアカウントページ [VPS] > **該当の契約のエリア**をクリック。



- **STEP 2.** [一般的な情報] 内に、新サーバーのIP アドレスが表示されています。



2. VPS メニュー 構成と名称

左メニューのVPS > メニューエリアをクリックすると、ご契約のVPS 情報が確認できます。

こちらの画面からサーバー再起動などを行うことができます。

The image shows two screenshots of the VPS management interface. The top screenshot shows the 'VPS' menu item in the left sidebar, highlighted with a red box and a hand icon. A red box also highlights the 'メニューエリア' (Menu Area) in the main content area, with a red arrow pointing to it and the text 'メニューエリアをクリックします。' (Click the menu area). The bottom screenshot shows the VPS details page. A red box highlights the 'シャットダウン' (Shutdown), '再起動' (Restart), '再作成' (Recreate), and '削除' (Delete) buttons, with a red circle '6' next to it. A red circle '5' is next to the '一般的な情報' (General Information) section. A red circle '4' is next to the 'ウェブコンソールを開く' (Open web console) link. A red circle '3' is next to the 'サーバー管理' (Server management) dropdown. A red circle '2' is next to the 'ファイアーウォール' (Firewall) section. A red circle '1' is next to the 'サーバーのアクティビティログ' (Server activity log) section. A red circle '7' is next to the 'バックアップ' (Backup) section.

VPS

OS: centos-5-x86-pcs6 (CT) ホスト名: server-1002098-1

CPU: 2 コアの 0% RAM: 9/1024 MB HDD: 0.69/50 GB

アクション ▼ **メニューエリアをクリックします。**

VPS

シャットダウン 再起動 再作成 削除 **6**

一般的な情報 ● 実行中 **5**

OS: centos-5-x86-pcs6 (CT) IP アドレス: ホスト名: server-

CPU: 2 コアの 0% RAM: 9 / 1024 MB HDD: 0.69 / 50 GB

4 ウェブコンソールを開く **3** サーバー管理 ▼

2 ファイアーウォール

2 有効化されているルール

ファイアーウォールを管理 ▼

1 サーバーのアクティビティログ

ログを表示

7 バックアップ

バックアップストレージ: 0/30 GB バックアップの数: 0

バックアップを管理 ▼

契約 ● アクティブ

有効期限: 2020年2月7日 自動更新: ● 有効

アクション ▼

①	停止・再起動・再作成	サーバー停止・削除・再起動・再作成を行うことができます。
②	一般的な情報	ご契約のサーバー情報が確認できます。
③	一般的な情報 > ウェブコンソールを開く	ウェブコンソール画面に移動します。
④	一般的な情報 > サーバー管理	クリックすると項目が表示されます。リンク先から設定ができます。 ・パスワードの設定（パスワードの設定・パスワードの変更） ・IP アドレスを管理（プライベート IP アドレスの確認、パブリック IP アドレスの追加） ・ホスト名の変更・ドメインの変更・プランを変更・追加リソースを調整 ・使用量の統計を表示
⑤	ファイアウォール > ファイアウォールを管理	クリックすると項目が表示されます。リンク先から設定、またはクリックすると実行されます。 ・ルールを管理 （ファイアウォール ON・OFF、ルールの追加・有効化・無効化・削除などができます） ・新しいルールを追加（ルールの新規追加ができます） ・オフにする（ファイアウォールを ON・OFF にすることができます。）
⑥	サーバーのアクティビティ ログ > ログを表示	サーバーのログを確認することができます。
⑦	バックアップ > バックアップを管理	クリックすると項目が表示されます。クリックすると実行されます。 ・今すぐバックアップ ・自動バックアップを有効化

2-1. Pleskについて

Plesk 画面のログイン方法などにつきましては、こちらの FAQ を参照してください。

Plesk12 以降 初回アクセスガイド	https://ex-cloud.jp/support/question/g-754
Plesk11 初回アクセスガイド	https://ex-cloud.jp/support/question/g-612

3. メールアカウントの移行について

メールアカウントは弊社にて移行済みです。メールアドレス名、パスワード、メールサーバー情報の変更はございません。

Plesk 画面から、各種メールアカウントのご設定状況を確認できます。以下のガイドを参照ください。

新規メールアドレス作成手順【Plesk12以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-756
新規メールアドレス作成手順(基本編)【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-616

メールアドレス	旧サーバーと新サーバーで 同じメールアドレス をご利用になれます。
アカウント名(ユーザー名)	旧サーバーと新サーバーで 同じアカウント(メールアドレス) をご利用になれます。
パスワード	旧サーバーと新サーバーで 同じパスワード をご利用になれます。

※接続先のホスト名またはサーバー名に IP アドレスを直接指定されている場合、移設完了後も旧サーバーにアクセスされてしまいます。
ドメイン名を設定するか、新サーバーの IP アドレスへ設定の変更を行ってください。

3-1. 【重要】MTA変更

メールソフトをご利用いただくためには、「MTA 変更」が必要となります。メールソフト設定前に必ず、MTA 変更作業後にメールソフトの設定を行ってください。

◆ 3-1-1. Postfix の設定

■ STEP 1. SSH でサーバーにログイン

`sudo -s` にて root に昇格した上で作業を実施してください。

■ STEP 2. 以下のコマンドで Postfix の設定ファイルが保存されているディレクトリに移動する

```
cd /etc/postfix
```

■ STEP 3. Postfix の設定ファイルをバックアップするため、以下のコマンドを実行する

```
cp /etc/postfix/main.cf /etc/postfix/main.cf.bk
```

■ STEP 4. Postfix の設定ファイルを編集するため、以下のコマンドを実行する

```
vi /etc/postfix/main.cf
```

■ STEP 5. 以下の設定を追加して保存する

```
relayhost = [relay.poa.svr4u.net]:25
```

■ STEP 6. 設定を反映させるため、以下のコマンドを実行する

■CentOS 6 の場合

```
/etc/init.d/postfix reload
```

■CentOS 7 の場合

```
systemctl reload postfix
```

◆ 3-1-2. qmail の設定

■ STEP 1. SSH でサーバーにログイン

■ STEP 2. 以下のコマンドで qmail の設定ファイルが保存されているディレクトリーに移動する

```
cd /var/qmail/control
```

■ STEP 3. 以下のコマンドを実行し、リレー用設定ファイルを作成する

```
vi smtproutes
```

■ STEP 4. 以下の行を smtproutes に追加する

```
:relay.poa.svr4u.net:25
```

■ STEP 5. 設定を反映させるため、以下のコマンドを実行する。

■CentOS 6 の場合

```
/etc/init.d/qmail restart
```

■CentOS 7 の場合

```
systemctl restart qmail
```

◆ 3-1-3. sendmail の設定

■ STEP 1. SSH でサーバーにログイン

■ STEP 2. 以下のコマンドで sendmail の設定ファイルが保存されているディレクトリーに移動する。

```
cd /etc/mail
```

■ STEP 3. sendmail の設定ファイルのバックアップを作成する。

```
cp sendmail.mc sendmail.mc.backup  
cp sendmail.cf sendmail.cf.backup
```

■ STEP 4. sendmail.mc の以下の行を編集する。

変更前 : `dnl define('SMART_HOST', 'smtp.your.provider')dnl`

変更後 : `define('SMART_HOST', 'smtp:relay.poa.svr4u.net')dnl`

※既に SMART_HOST の設定が有効になっている場合は smtp:relay.poa.svr4u.net の部分のみ変更してください。

■ STEP 5. 以下のコマンドで sendmail.cf を更新する。

```
m4 sendmail.mc > sendmail.cf
```

■ STEP 6. 以下のコマンドで sendmail.cf を更新する。

■CentOS 6 の場合

```
/etc/init.d/sendmail restart
```

■CentOS 7 の場合

```
systemctl restart sendmail
```


◆ 3-1-4. メールサーバー情報の確認 ※メールサーバー情報は、全ユーザー共通です

受信・送信メールサーバーの情報は変更ございません。

受信メールサーバー	mail.ドメイン名 ※従来と同じ情報です。
送信メールサーバー	mail.ドメイン名 ※従来と同じ情報です。

◆ メールソフトのご設定情報について

メールソフトに設定されたメールアカウントは、基本的に再設定を行っていただく必要はございません。

ただし、受信 (POP)・送信 (SMTP) サーバーを IP アドレスにて設定されている場合は、

DNS 切り替え後にメールの送受信ができなくなるため、新サーバーの「メールサーバー名 : mail.ドメイン名」にご修正をお願いいたします。

◆ 3-1-5. Web メールのご利用について

DNS 切り替えを行われてから数時間は、新旧サーバーのどちらに接続されるか不明確なプロパゲーション期間が発生いたします。

DNS レコード情報を更新した際に必要となる伝播期間となりますが、この期間はメールが新サーバーと旧サーバーのどちらにメールが届くかが不明確となります。

インターネットの仕様上、回避ができないものとなりますが、お客さまの貴重なメールの取りこぼしを防ぐためには、以下2つの方法がございます。

1. 一時的に Web メールも併用し、新旧サーバーそれぞれに個別に届いたメールも確認する
2. 新旧サーバーそれぞれの IP アドレス情報にて、メールソフトに新旧2つのアカウントを設定する

上記のうち【2】の手順につきまして、お客さまにお手数をおかけしてしまうため、【1】のように一時的に新旧サーバー共に Web メールをご利用いただき、メールの取りこぼしがないかのご確認をいただくことをお勧めいたします。

なお、データ移行完了後、旧サーバーで Web メールのご利用設定をされていないお客さまは、旧 Web メールをご覧いただくことができません。お手数ではございますが、弊社サポート窓口までお問い合わせください。
新サーバーでの Web メールの設定方法につきましては、『[3-4. Web メールについて](#)』をご参照ください。

◆ 旧サーバーで Web メールの利用設定をされていたお客さま

お客さまがお使いの PC の「hosts ファイル」を使って、旧サーバーの Web メールをご覧になれます。

詳細な設定方法は『[4-4-2. hosts ファイルでの確認方法](#)』をご確認ください。

Web メールを確認するために追記する記述は以下のとおりです。

旧サーバーの IP アドレス webmail.ドメイン名

※IP アドレスとドメイン名の間に半角スペースを入力してください。

上記の記述を無効にするには、行頭に『#』(半角でも全角でも可)を追記し、ファイルを上書き保存します。

#旧サーバーの IP アドレス webmail.ドメイン名

旧メールサーバーIP アドレスは、『[◆旧サーバーの DNS レコードを確認する](#)』の手順で確認していただけます。

◆ 3-1-6. IMAP でのご利用について

IMAP 形式のアカウント（または Web メール）でメールを利用されている場合、メールデータは、サーバー内のメールボックス上にしか存在しません。

そのため、IMAP 形式のアカウント（または Web メール）でメールを利用されているお客さまにおかれましては、**旧サーバー停止時にメールデータが削除され、メールソフト内でも送受信済みのメールの閲覧ができなくなります。**
メール閲覧ができなくなる回避策として、DNS 切り替え前に「POP 形式のアカウント」を別途設定し、お客さまの PC 上にメールデータを保存していただくことを推奨いたします。

※保存手順につきましてはメールソフトごとに異なりますため、別途ご確認ください。

なお、メールソフトのご設定方法：[『3-2. メールソフトの設定』](#)をご参照ください。

3-2. メールソフトの設定

お客さまが作成されたメールアドレスは、PC やモバイルなどのメールソフトに設定してご利用になれます。

各種メールソフトの設定に必要な情報は以下のとおりです。

メール設定情報		
メールアドレス		お客さまのメールアドレス
ユーザー名		メールアドレスと同じ（@以降も含む）
パスワード		メールアドレスに設定されたパスワード
受信メールサーバー（ホスト）名		mail.ドメイン名（お客さまのドメイン名）
受信ポート	POP	110（SSL なし / 接続の保護なし）または 995（POP over SSL）
	IMAP	143（SSL なし / 接続の保護なし）または 993（IMAP over SSL）
送信メールサーバー（ホスト）名		mail.ドメイン名（お客さまのドメイン名）
送信サーバー（SMTP）は認証が必要		有効

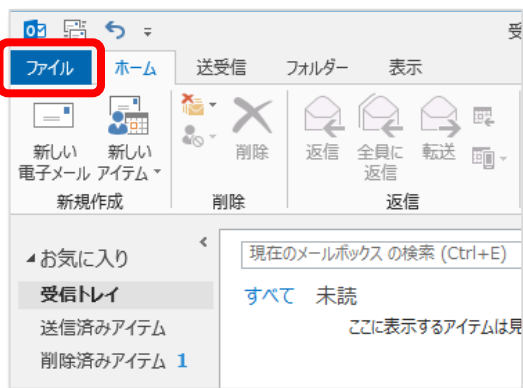
次ページ以降に、代表的なメールソフトの設定方法や確認方法を掲載しておりますので、ご確認ください。

- ◆ [Microsoft Outlook2013](#)
- ◆ [Microsoft Outlook2016](#)
- ◆ [Mozilla Thunderbird](#)
- ◆ [Windows10 メールアプリ](#)
- ◆ [Apple \(Mac\) Mail](#)
- ◆ [Gmail \(PC 版\)](#)

上記以外のメールソフトをご利用のお客さまは、お手数ではございますが、お使いのメールソフトのヘルプなどをご確認ください。

◆ Microsoft Outlook2013

- 1.Outlook を起動します。
- 2.上部メニューの「ファイル」をクリック

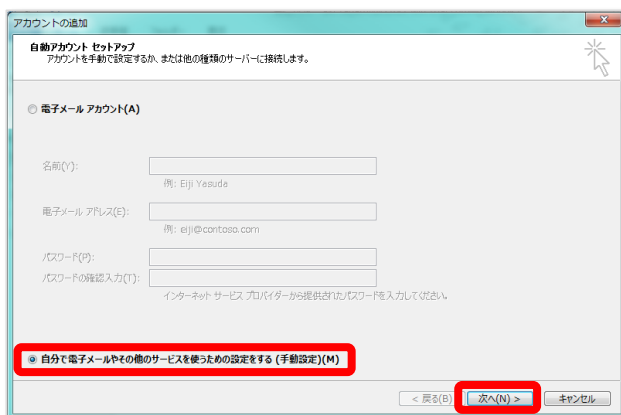


- 3.「情報」 > 「+アカウントを追加」をクリック



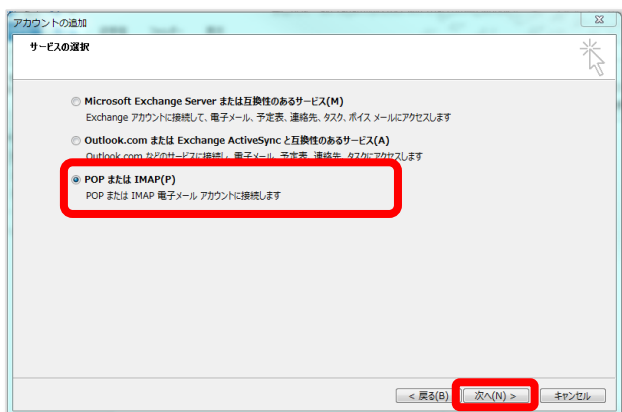
- 4.「自動アカウントセットアップ」 >

「自分で電子メールやその他のサービスを使う…」を選択して
「次へ」をクリック



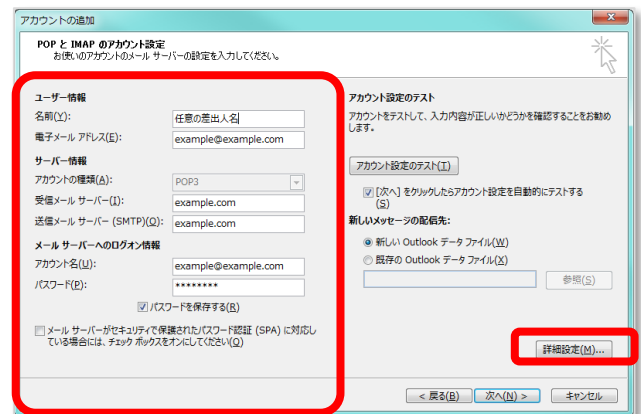
- 5.「サービスの選択」 >

「POP または IMAP」を選択して「次へ」をクリック



- 6.「POP と IMAP のアカウント設定」のウィンドウで

メール設定に必要な情報を入力します。



名前	差出人名として相手に表示させる名前
電子メールアドレス	お客さまのドメインのメールアドレス
アカウントの種類	POP3 / IMAP
受信メールサーバー	mail.ドメイン名
送信メールサーバー	mail.ドメイン名
アカウント名	お客さまのドメインのメールアドレス
パスワード	パスワード

- 7.上記の情報まで入力完了したら「詳細設定」をクリック

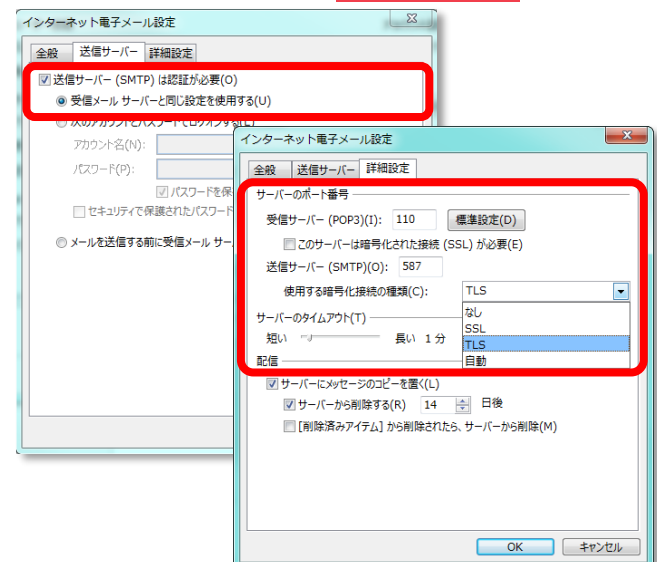
「送信サーバー」タブ内

送信サーバー (SMTP) は認証が必要にチェック

- 受信メールサーバーと同じ設定を使用するを選択

- 8.「詳細設定」タブ内 > サーバーのポート番号 で

送信サーバー (SMTP) の数値を 25 から 587 へ変更



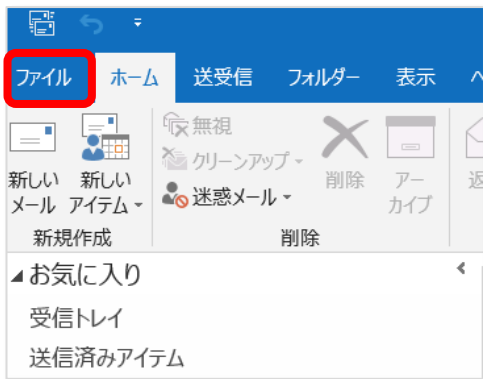
- 9.「OK」 > 「次へ」をクリックすると、自動的にテストメールの

送受信が行われます。エラーがでなければ完了です。

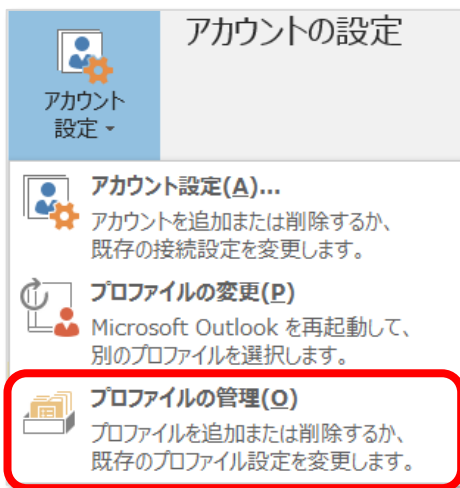
「Microsoft Outlook のテストメッセージ」を受信できたか確認してください。

◆ Microsoft Outlook2016

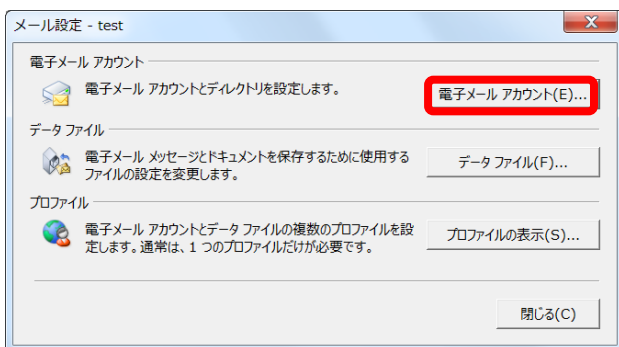
1. Outlook を起動します。
2. 上部メニューの「ファイル」をクリック



3. 「情報」 > 「アカウント設定」 > 「プロファイルの管理」をクリック



4. 「電子メールアカウント」をクリック



5. 「新規 (N)」をクリック



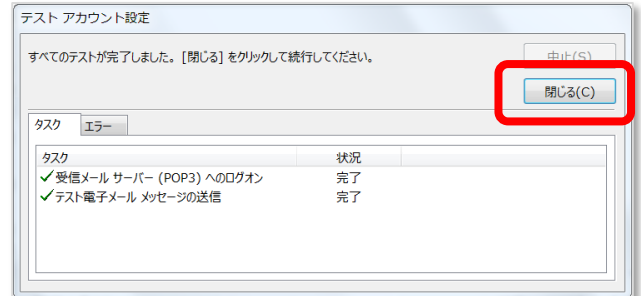
6. 「Microsoft Outlook2013 の手順 6-9」を

参考に、アカウントを設定します。

7. 自動的にテストメールの送受信が行われます。

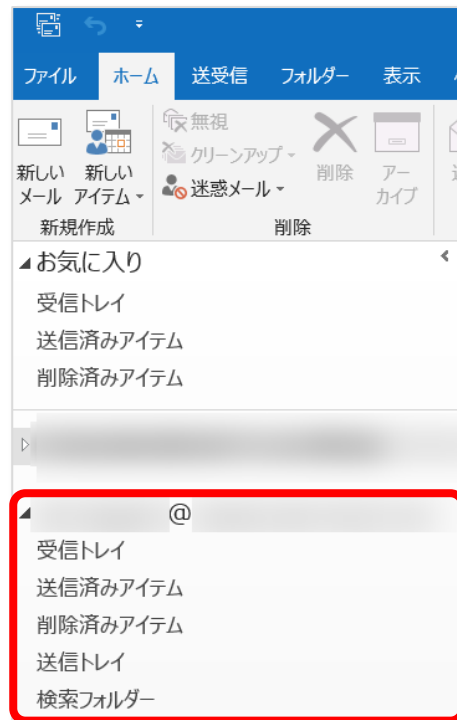
エラーがでなければ完了です。

[閉じる]をクリックして受信トレイに戻ってください。



8. Outlook 上に、設定したメールアドレスの受信トレイが表示されます。

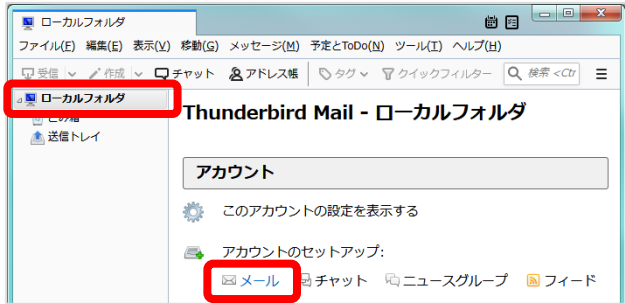
「Microsoft Outlook のテストメッセージ」を受信できたか確認してください。



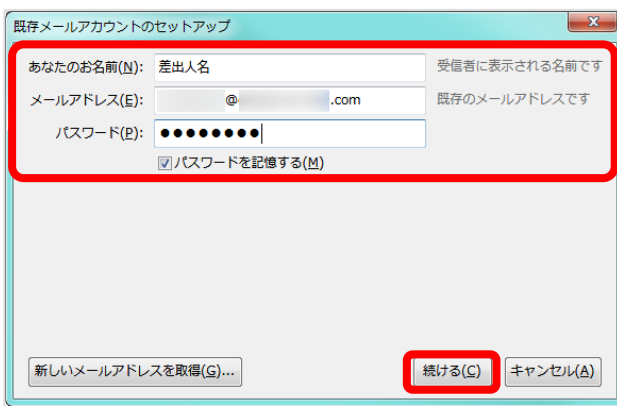
Mozilla Thunderbird

1. Thunderbird を起動します。

2. ローカルフォルダ内の【アカウントのセットアップ】 > 【メール】をクリック

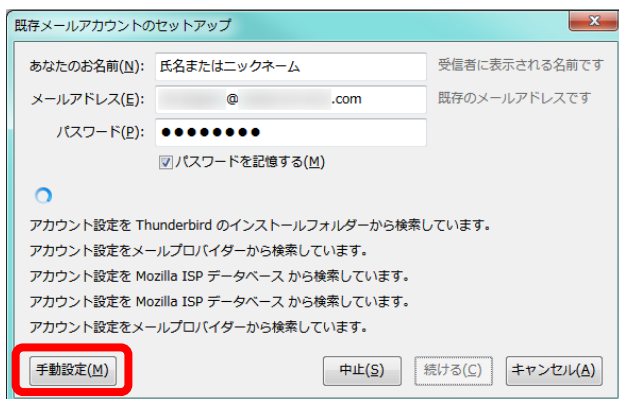


3. 【既存メールアカウントのセットアップ】ウィンドウで、メール設定に必要な情報を入力して【続ける】をクリック



あなたのお名前	差出人名として相手に表示させる名前
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	パスワード

4. Thunderbird がメールプロバイダーなどの検索をかける間に【手動設定】をクリック



5. 手動設定フォームでサーバー情報の設定を行います。



受信サーバー (POP3)

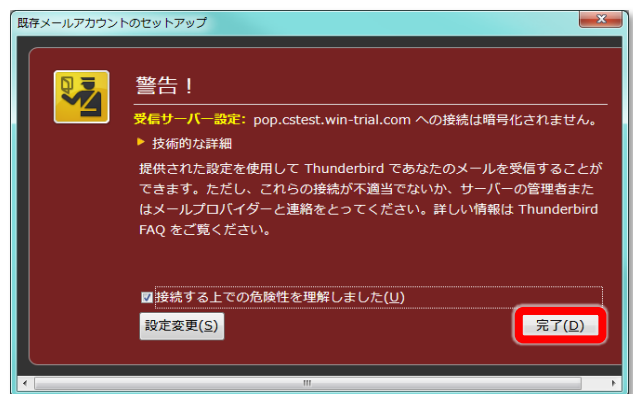
サーバーのホスト名	mail.ドメイン名
ポート番号	110
SSL	接続の保護なし
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス

送信サーバー (SMTP)

サーバーのホスト名	mail.ドメイン名
ポート番号	587
SSL	STARTTLS
認証方式	暗号化されたパスワード認証
ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス

上記の情報まで入力完了したら【完了】をクリック

6. 【警告】ウィンドウで「接続する上での危険性を理解しました」にチェックをいれ、【完了】をクリック



7. Thunderbird のウィンドウにメールアドレスが表示されたら設定は完了です。

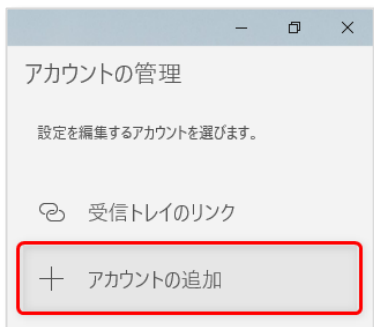


Windows10 メールアプリ

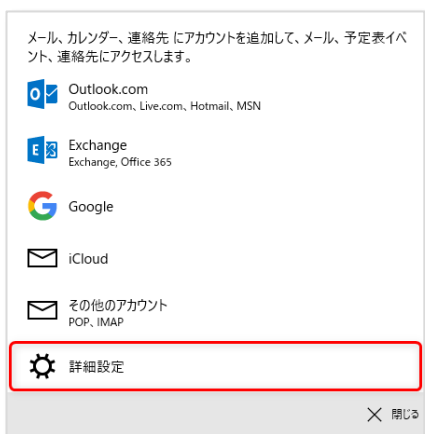
- 1.Windows10 メールアプリを起動します。
- 2.メニューの「アカウント」>「アカウントの管理」をクリック



- 3.「アカウントの管理」>「+アカウントの追加」をクリック



- 4.「詳細設定」をクリック



- 5.「インターネットメール」をクリック



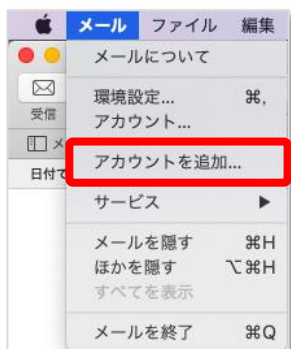
6. 手動設定フォームでサーバー情報の設定を行います。

インターネットメールアカウント		
メールアドレス	お客さまのドメインのメールアドレス	
ユーザー名	お客さまのドメインのメールアドレス	
パスワード	パスワード	
アカウント名	Win10 メールアプリ上での表示名	
この名前を使用して…	差出人名として相手に表示させる名前	
受信メールサーバー	mail.ドメイン名	
POP3 / IMAP4	POP3 ※IMAP でも設定は可能です	
メールの送信サーバー	mail.ドメイン名:587:1	
送信サーバーには、認証が必要です(SMTP Auth)		有効
送信メールに同じユーザー名とパスワードを使用		有効
受信メールには SSL が必要		任意
【SSL を有効にした場合】※サーバー名とポートを以下のように記載		
POP3 : お客さまの受信メールサーバー名:995		
IMAP4 : お客さまの受信メールサーバー名:993		
送信メールには SSL が必要		任意
【SSL を有効にした場合】※サーバー名とポートを以下のように記載		
お客さまの送信メールサーバー名:465		

- 7.すべての情報を設定後、「サインイン」をクリックして
設定は完了です。

◆ Apple(Mac)Mail

1. Mail を起動します。
2. メニューバー **【メール】** > **【アカウントを追加】** をクリック

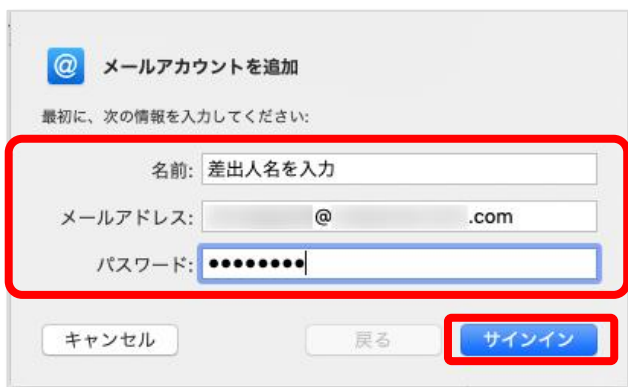


3. 以下のウィンドウで、「その他のメールアカウント」を選択して **【続ける】** をクリック

※Mail に初めてアカウントを設定する方は、起動した時点でこのウィンドウが開きます。



4. メール設定に必要な情報を入力して **【サインイン】** をクリック



あなたのお名前	差出人名として相手に表示させる名前
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	パスワード

5. メールサーバーの情報を入力して **【次へ】** をクリック

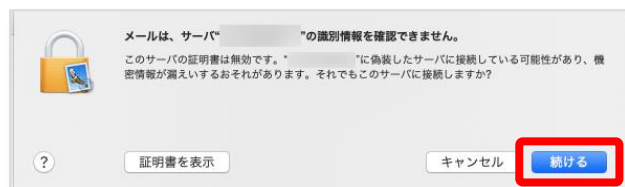
※受信用メールサーバー情報を入力すると、「ユーザ名」が空白に戻ってしまう場合がございます。

- ①アカウントの種類の選択、②サーバー情報の入力、③ユーザー名の入力 の順で設定を行ってください。

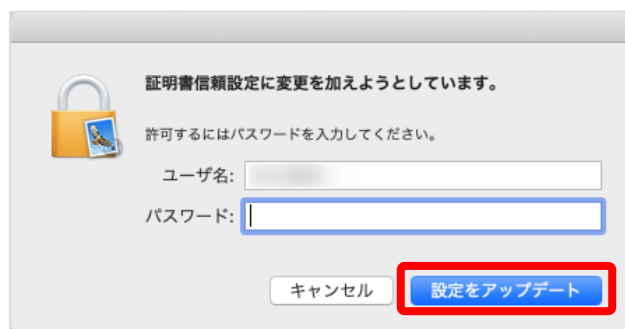


ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード
アカウントの種類	POP / IMAP
受信用メールサーバー	mail.ドメイン名
送信用メールサーバー	mail.ドメイン名

6. 独自メールアドレスを設定する際、メールソフトの仕様で「メールは、"サーバー名"の識別情報を確認できません。」の表示がでる場合がございます。この場合は **【続ける】** をクリックしてください。

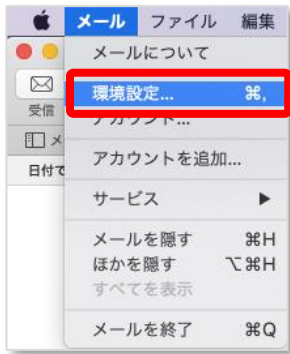


続いて、お客様の Mac にログインする際に使用されているユーザー名とパスワードを入力し、**【設定をアップデート】** をクリックします。



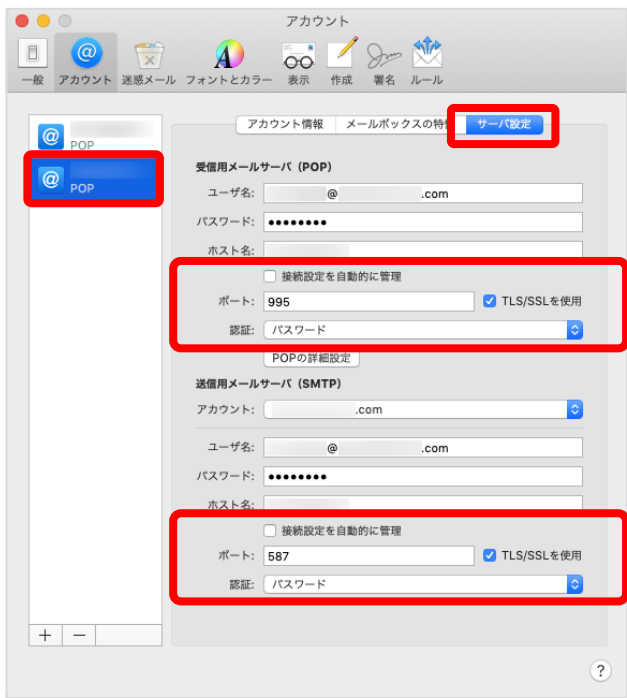
7.詳細設定を行うため、メニューバー【メール】 > 【環境設定】

> 【アカウント】の順にクリック



8.設定したアカウントを選択し【サーバー設定】タブをクリックし

以下の設定を変更して【保存】をクリック

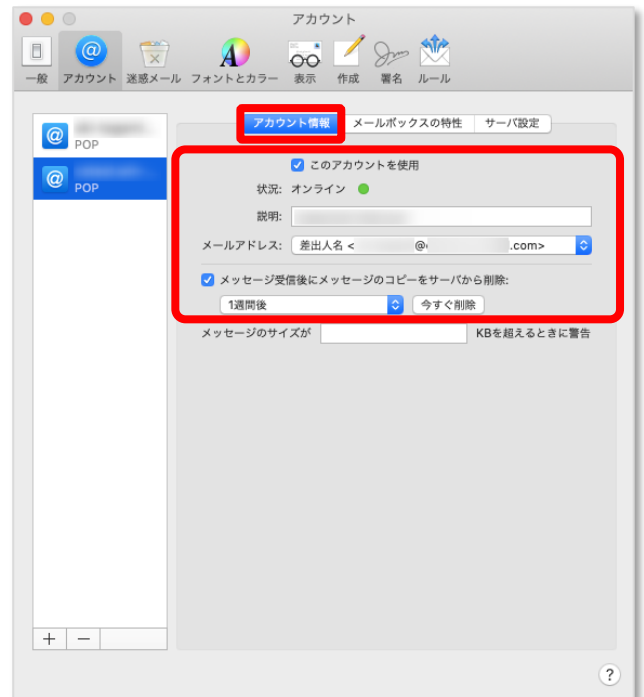


受信用メールサーバ (POP)	
接続設定を自動的に管理	チェックをはずす
ポート	POP over SSL の場合 : 995
TLS/SSL を使用	チェックをいれる
認証	パスワード を選択
送信用メールサーバ (SMTP)	
接続設定を自動的に管理	チェックをはずす
ポート	587
TLS/SSL を使用	チェックをいれる
認証	パスワード を選択

以上で基本的な設定は完了です。

■ メールアカウント設定後の確認事項

👉 【アカウント情報】タブで、以下の設定をご確認ください。

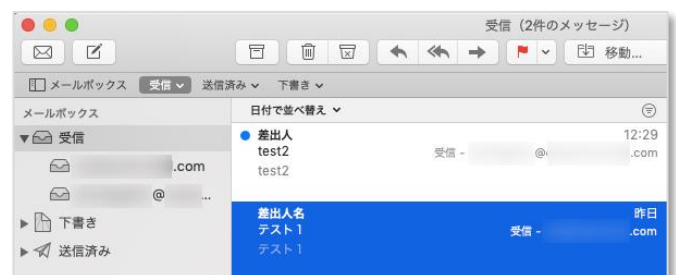


このアカウントを使用	チェックが入っている
状況	オンライン ●
メッセージを受信後にメッセージのコピーをサーバーから削除	
初期設定では、メールソフトで受信後、1週間後にサーバー内のメールが削除される設定になっています。 共通のメールアカウントなどの場合は、チェックをはずし、メールのコピーをサーバーに残す必要があります。	

👉 新規メッセージ作成の画面を開き、メール送受信のテストを実施してください。

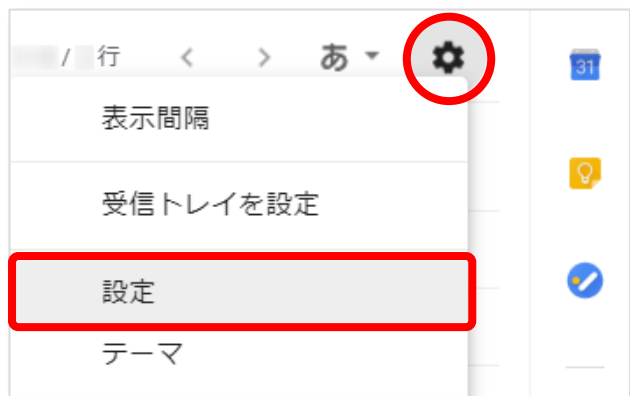
宛先	お客さまのメールアドレス
差出人	お客さまのメールアドレス ※メールアカウントが1つしかない場合、差出人の選択項目は表示されません。

メール送受信テストを行い、以下のようにメールが受信できれば、設定はすべて完了です。



◆ Gmail (PC 版)

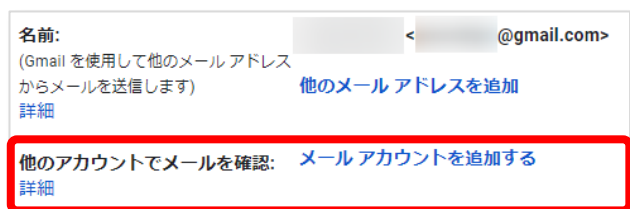
1. Gmail ログイン後、画面右上の  アイコンをクリック > **【設定】** をクリック



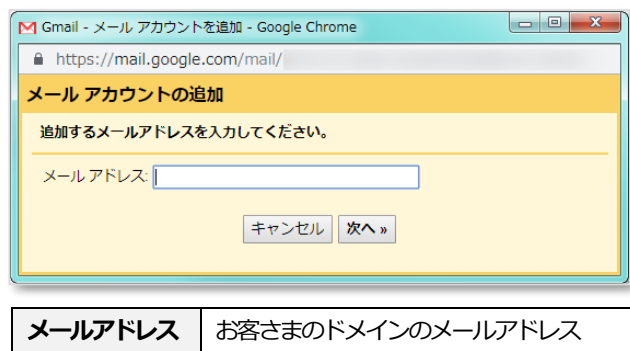
2. 画面上部の **【アカウントとインポート】** をクリック



3. 項目の中から **【メールアカウントを追加する】** をクリック



4. ウィンドウがポップアップで開くので「メールアドレス」に **お客様のメールアドレス** を入力し **【次へ】** をクリック

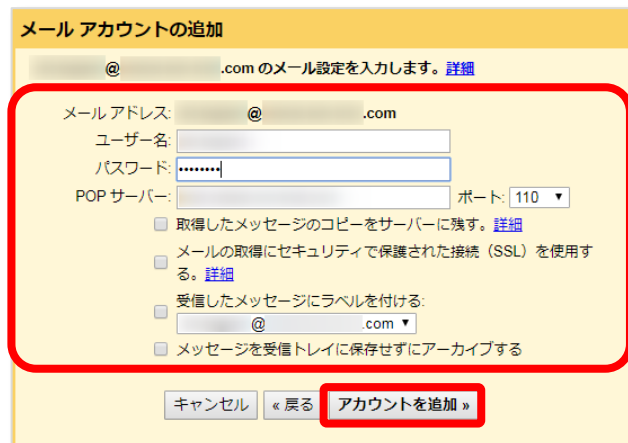


5. 「**【他のアカウントからメールを読み込む (POP3)】**」にチェックして **【次へ】** をクリック



6. メール設定画面で必要な情報を入力します。

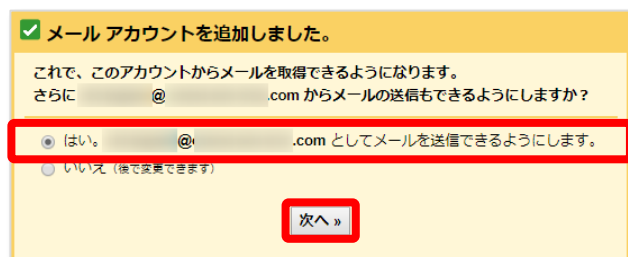
入力後、**【アカウントを追加】** をクリック



ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード
POP サーバー	mail.ドメイン名
ポート	110
取得したメッセージのコピーをサーバーに残す Gmail 内に POP3 でダウンロードしたメールのコピーをサーバーに残す場合はチェックが必要です。 複数台で利用している共用のメールアドレスなどは、こちらのチェックが必要ですのでご注意ください。	
メールの取得にセキュリティで保護された接続 (SSL) を使用する チェックはオフにしてご設定ください。 ※POP3 over SSL を使用する場合にチェックします。	
受信したメッセージにラベルを付ける Gmail の受信トレイなどで、お客様のドメインメールと判別がしやすいよう、件名前に自動でラベルを付けることができます。	
メッセージを受信トレイに保存せずにアーカイブする 受信トレイには表示せず、専用の領域に保存だけしておきたいときに選択します。 アーカイブされたメールは「受信トレイ」からではなく、「すべてのメール」から読むことができます。	

7. 続いてメール送信の設定に進みます。

「はい。●お客様のメールアドレス●としてメールを送信…」 を選択して **【次へ】** をクリック



8. 「名前」に、差出人名として表示させる名前を入力して

【次のステップ】をクリック

自分のメールアドレスを追加

別のメールアドレスの情報を入力してください。
(設定した名前とメールアドレスが送信するメールに表示されます)

名前: 差出人名を入力してください

メールアドレス: @.com

☒ エイリアスとして扱います。 [詳細](#)

[別の返信先アドレスを指定](#) (オプション)

キャンセル **次のステップ »**

9. 送信サーバーの情報を入力して【アカウントを追加】をクリック

自分のメールアドレスを追加

SMTP サーバー経由でメールを送信します

com の SMTP サーバー経由でメールが送信されるように設定します。 [詳細](#)

SMTP サーバー: ポート: 587 ▼

ユーザー名: @.com

パスワード:

☒ TLS を使用したセキュリティで保護された接続 (推奨)

☐ SSL を使用したセキュリティで保護された接続

キャンセル « 戻る **アカウントを追加 »**

SMTP サーバー	mail.ドメイン名
ポート	587
ユーザー名	お客様のメールアドレス
◎ TLS を使用したセキュリティで保護された接続 (推奨)	

10. Gmail から、お客様のメールアドレス宛てに

認証メールが送信されます。

Plesk コントロールパネルから Web メールにログインし、
Gmail からの認証メールを確認します。

本文内の URL (リンク) をクリックする または、
本文内の確認コードを空欄のフォームに入力して【確認】を
クリックして完了です。

自分のメールアドレスを追加

確認手順に従ってメールアドレスを追加します

ご使用の他のサーバーを検出し、認証情報を確認しました。作業はもう少しで完了します。

確認コードを記載したメールを @.com に送信しました。
[\[メールを再送信\]](#)

メールアドレスを追加するには、次のいずれかの操作を行います。

確認メールのリンクをクリックします

または
確認コードを入力し、確認してください

確認

[ウィンドウを閉じる](#)

3-3. 既存のメール設定の確認

メールアカウント設定の移行状況は、以下のとおりです。

メールアカウント	移行済み
転送設定・自動応答	移行済み
アンチスパム・ウイルスチェック	移行済み
メーリングリスト	移行済み
メールエイリアス	移行済み

なお、移行されている情報は、**【サーバー移行日の前日】の設定内容**です。

そのため、弊社での移行作業日の当日以降に追加・編集されたメールアカウントは反映されませんので、ご注意ください。

メールアカウントのログイン ID、パスワードに変更はありません。移行済みのメールアカウントは、Plesk 画面にて確認可能です。**※メールアカウントのパスワード再設定方法も以下のサポートページに記載がございます。**

新規メールアドレス作成手順【Plesk12 以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-756
新規メールアドレス作成手順(基本編)【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-616

◆ 3-3-2. 転送・自動応答・アンチスパム設定の確認

Plesk 画面にて確認が可能です。以下のサポートページでは新規設定手順ですが、同様の画面上で移行された情報の確認が可能です。ご参照のうえ、ご確認をお願いいたします。

アンチウイルス有効化(オプション)【Plesk12 以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-559
メールウイルスチェックの設定【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-646
自動応答の設定方法【Plesk12 以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-759
自動応答の設定方法【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-629
自動応答【Plesk8】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-408

◆ 3-3-3. メーリングリスト・メールエイリアスの確認

Plesk 画面にて確認が可能です。以下のサポートページでは新規設定手順ですが、同様の画面上で移行された情報の確認が可能です。ご参照のうえ、ご確認をお願いいたします。

メーリングリストの作成(Mailman)【Plesk12 以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-776
メーリングリストの作成(Mailman)【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-634
メーリングリストの作成方法(転送)【Plesk12 以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-758
Mailman の初期設定【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-630

◆ 3-3-4. Web メールについて

Plesk 画面にて確認が可能です。以下のサポートページでは新規設定手順ですが、同様の画面上で移行された情報の確認が可能です。ご参照のうえ、ご確認お願いいたします。

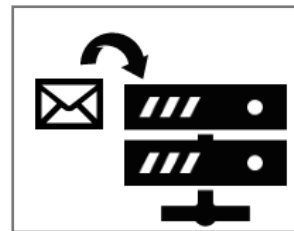
ウェブメールの利用方法【Plesk12 以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-757
ウェブメールの利用方法【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-628

3-4. メールの内部配送について

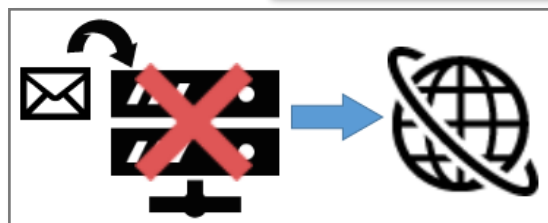
■ 内部配送とは

メール配送が、DNS サーバーへの問い合わせを行わずに、自サーバー内に配送されることを、『**内部配送**』と言います。メール配送については、どのようなサーバーであっても、一般的には、以下の順序で行われております。

- ① まず、**送信先のドメイン名が、同じサーバー内に存在しないかを確認**します。



- ② 同じサーバー内に送信先のドメイン名が見つからなければ、DNS サーバーに、ドメイン名の問い合わせを行います。



- ③ DNS サーバーから返ってきたドメイン名の接続先サーバーにメールを配送します。



上記のように、メール送信の際には、送り先ドメイン名を DNS サーバーへ問い合わせる前に、自サーバー内にそのドメイン名が存在していないかどうかを確認しています。

ここで、自サーバー内に、該当ドメイン名があれば、DNS サーバーへの問い合わせを行わずにメールの『**内部配送**』が行われます。

通常、メールを送信した場合、新サーバーが発行されていても、DNS 切り替えを行わなければ、旧サーバーにしか届かず、DNS 切り替えを行えば、新サーバーにしか届かなくなるはずです。

しかし、『**内部配送**』の条件がそろうと、DNS 切り替え前に新サーバーにメールが配送されたり、DNS 切り替え後に、移行前の旧サーバーにメール配送される事象が発生したりします。

■ 内部配送の対策

新サーバーの領域作成のご案内メールが届いた後、お使いのメールソフトで届かないメールがある場合には、新サーバーの Web メールへログインし、メールが届いていないかをご確認くださいようお願いいたします。

また、新サーバーの Web メールでもメールの確認ができない場合には、旧サーバー側での設定を変更していただくことで、内部配送を回避できます。

しかしながら、新サーバーの領域を作成した時点で、旧サーバーの Plesk は基本にご利用いただけなくなりますため、必要があれば、弊社[サーバー移行特設窓口](#)までお問い合わせください。別途、お手続き方法をご案内いたします。

4. Web コンテンツの移行について

4-1. Webコンテンツの移行範囲とご注意点

お客さまの移行予定日の前日に、弊社にて各種データの移行を実施いたします。

データ移行作業を完了後、お客さまへは、メールにて新サーバー移行予定日を個別にご案内いたします。

※**接続先のホスト名またはサーバー名に IP アドレスを直接指定されている場合、移設完了後も旧サーバーにアクセスされてしまいます。ドメイン名を設定するか、新サーバーの IP アドレスへ設定の変更を行ってください。**

新サーバー移行後に、お客さまが旧サーバー側で Web コンテンツ更新を行われますと、データ差分が発生します。
その場合、差分データを新サーバーへアップロードする作業は、お客さまにて実施していただく必要がございます。
あらかじめご了承ください。

4-3. FTPアカウント情報について

新サーバーで利用する FTP アカウントは、旧サーバーで利用していたものと同じ情報です。

FTP 接続ソフト等で、FTP 接続を行っていた場合、接続先サーバー名がドメイン名だった場合、DNS 切り替え前は旧サーバーに接続し、DNS 切り替え後は新サーバーに接続することになります。

DNS 切り替え前に新サーバーに FTP 接続したい場合は、[新サーバーの IP アドレス](#)をご利用ください。

FTP アカウントの情報は、下記の手順でご確認いただけます。

FTP アカウント情報の確認方法【Plesk12 以降】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-761
FTP アカウント情報の確認方法【Plesk11】	https://ex-cloud.jp/support/question/g-638

画面上では、設定済みパスワードは表示されませんが、移行前サーバーと同じパスワード情報が設定されています。

パスワード情報が不明な場合は、上記サポートページの「[4.パスワードの再設定](#)」を参考に行ってください。

4-4. DNS切り替え前にホームページの表示や動作を確認する

新サーバーには、旧サーバーのWeb コンテンツデータが移行済みとなっておりますが、サーバーシステムに多少の違いがございます。

お手数ではございますが、お客さまご自身で、Web コンテンツの表示や動作に問題が発生していないかどうか、ご確認いただけますようお願いいたします。

Plesk のプレビュー機能を利用する場合、プレビューは以下の形式の URL で表示されます。

プレビューURL

http://サーバーIP アドレス/plesk-site-preview/**お客さまドメイン名**/サーバーIP アドレス/

お客さまのWeb サイトの画像のリンク先などを「相対パス(../)」指定で表示されている場合など、プレビュー用 URL の影響でリンクが正常に機能せず、一部画像やリンクが正常に表示されない場合がございます。あらかじめご了承ください。

画像の表示状態などを確認されたい場合は、『[4-4-1. hosts ファイルでの確認方法](#)』を参考にして、表示をご確認ください。

◆ 4-4-1. hosts ファイルでの確認方法

WordPress などの動的コンテンツを運用されている場合や、プレビューサーバー機能を利用して確認を行っても画像が表示されない場合はこちらの手順をお試しく下さい。

なお、下記の手順は WindowsOS の PC をご利用の場合の手順となります。

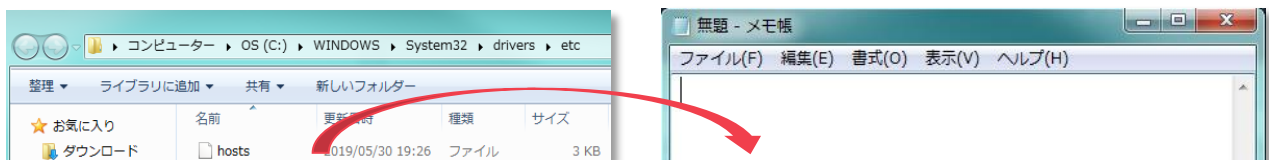
■ STEP 1. hosts ファイルの確認

ご利用の PC の **hosts** ファイルを修正します。以下のシステムディレクトリーまで進んでください。

ご利用 OS	hosts ファイル保存場所
Windows7	C:\Windows\System32\drivers\etc\
Windows8	
Windows10	

■ STEP 2. hosts ファイルを開く

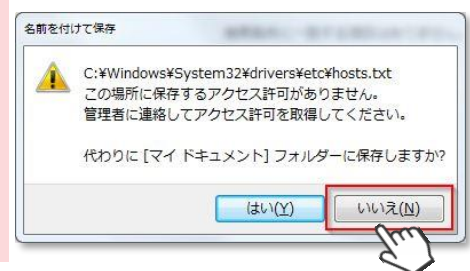
上記のシステムディレクトリーへ移動後、**hosts** ファイル → メモ帳を開いてドラッグ&ドロップします。



※hosts ファイルをそのまま編集せずに上書き保存ができるかを

ご確認ください。上書き保存ができた場合は『STEP 3』へお進みください。

右図のように別ディレクトリーへ保存を促すダイアログが表示された場合は、[こちら](#)へお進みください。ダイアログは「いいえ」を押して、hosts ファイルを閉じます。



■ STEP 3. hosts ファイルに追記する。

開いた hosts ファイルの一番下に下記の 2 行を追記して上書き保存をします。

※hosts.txt ではなく hosts のまま保存します。

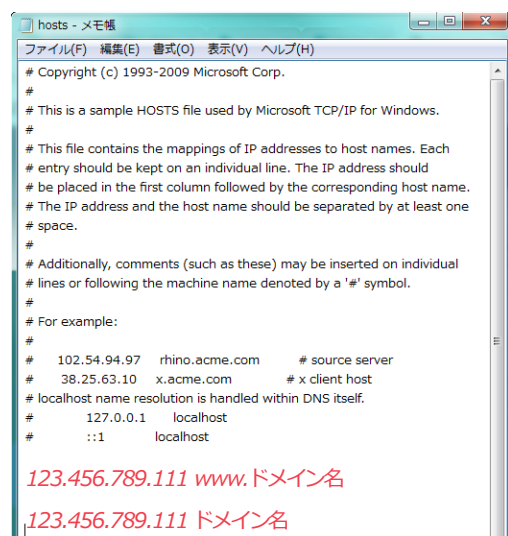
新サーバーの IP アドレス www.ドメイン名

新サーバーの IP アドレス ドメイン名

※IP アドレスとドメイン名の間に半角スペースを入力してください。

この記述ある hosts ファイルがある PC 上からだけ、ドメイン名の接続先が記述した IP アドレスになります。

表示確認が終わりましたら、忘れずに、hosts ファイルから、上記手順で追加した 2 行を削除し、上書き保存してください。



◆ 4-4-2. hosts ファイルを保存しようとしてエラーがでる場合

hosts ファイルを保存しようとしてエラーがでた場合は、下記のいずれかの手順をお試しください。

■企業から PC を貸与されており、管理部門にて一括管理されている PC をご利用の場合

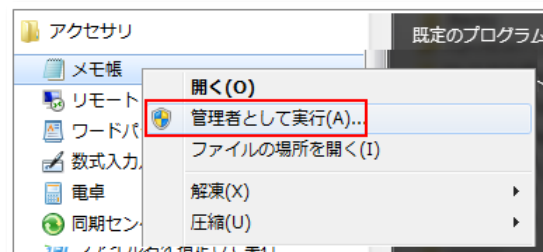
PC の管理部門に hosts ファイルの保存をしたい旨をお伝えください。

※セキュリティの観点から、編集できるファイルやディレクトリーが制限されている場合がございます。

■個人事業主さまやご自宅の PC など個人で管理されている PC をご利用の場合

管理者として hosts ファイルを編集する方法がございます。

PC の [スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] > [アクセサリ] > メモ帳 と進み、右クリックをして [管理者として実行] を選択し、メモ帳を開いてから [STEP2] の手順を再度お試しください。



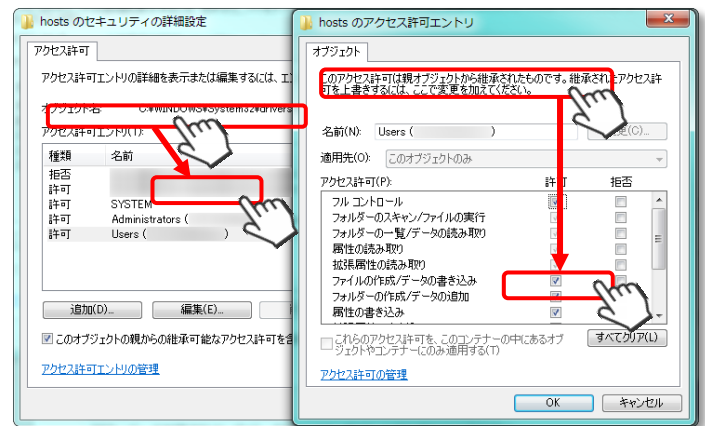
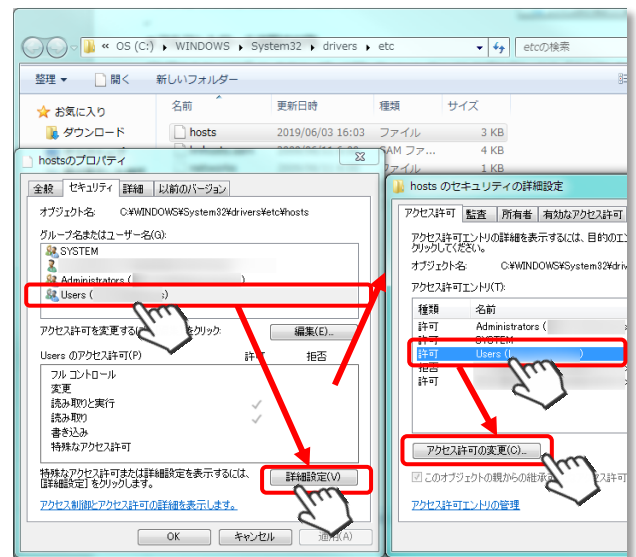
■フルコントロール権限の付与

ご利用中の PC にログイン中のユーザーに対して、hosts ファイルのプロパティから「フルコントロール権限」を付与することで、hosts ファイルが編集可能になる場合があります。

■ **STEP 1.** [プロパティ] > [セキュリティタブ] > [ユーザーの選択] > [詳細設定] > [ユーザー名] の選択 > [アクセス許可の変更] の順に進みます。

■ **STEP 2.** ユーザー名を選択して [編集] をクリック
[フルコントロール] の許可欄にチェックをいれて、
[OK] をクリックします

上記作業後に p.26 「STEP3」 から再度お試しください。
状況が改善されない場合は PC の管理者さまへご相談ください。



4-5. Web表示でエラーが発生する場合

新サーバーの各プログラム・データベースなどは、セキュリティ強化のため、バージョンアップをしております。
旧サーバーでお使いいただけたバージョンではご使用いただけていた記述や PHP プログラムの関数などが異なることから、
Web 表示などに不具合が発生する場合がございます。

お客さまからいただいた事例やよくあるご質問については、EX-CLOUD のサポートサイト「[よくある質問](#)」に
随時更新をする予定でございます。あわせてご確認くださいますようお願いいたします。

4-6. データベース移行について(パスワードの再設定)

「データベース名」「データベースユーザー名」「データベースパスワード」など、データベースの情報は、
基本的には移行前と同じ情報で移行されております。

5. ドメインと DNS レコード管理機能【必須】

5-1. ドメインの管理について

弊社で管理されているドメインは、マイアカウントページ【ドメイン】でご確認・各種お手続きが行えます。

- ネームサーバー (DNS) の切り替え
- DNS レコードの管理 / DNS ゾーン情報の編集
- レジストラロック
- サブドメイン追加

■ STEP 1. マイアカウントページ【ドメイン】 > 【対象ドメイン】をクリックします。

The screenshot displays the GMO Cloud domain management interface. The top section shows a list of domains with columns for Domain, DNS Hosting, Status, Validity Period, Services, and Actions. A red box highlights the 'お客さまのドメイン名' (Customer's Domain Name) in the first row, and another red box highlights the 'アクション' (Action) dropdown menu. The bottom section shows the detailed management page for a specific domain, with three main panels: DNS Hosting, Domain Registration, and Expansion Options. Each panel has an 'アクション' (Action) dropdown menu highlighted with a red box.

■ STEP 2. 以下のメニューが表示されますので、【アクション】をクリックし、操作されたいメニューを選択します。

DNS ホスティング	ドメインに設定している「ネームサーバー」「DNS ゾーン情報」の情報を確認・変更できます。
ドメイン登録	ドメインの有効期限など、一般的な情報が表示されます。 ドメインの契約詳細などもこちらから確認できます。
拡張オプション	ドメインに設定している「レジストラロック」の変更手続きが行えます。 ※すでに新環境へ移行されたドメインにて「Whois 情報代行サービス」の設定をご希望の場合は、 こちら からサポート窓口へご依頼ください。 Whois 情報代行サービスを以前よりご利用の方は、新環境におきましても設定されております ため、再度ご依頼いただく必要はございません。

5-2. DNS（ネームサーバー）の切り替えについて

新サーバーへ移行済みのメールアカウントの確認・設定のご変更や、Web コンテンツの表示確認をしていただき、問題なければ、最後にネームサーバーを変更します。

■ 任意で設定されていた DNS レコードについて

【メインドメインについて】

EX-CLOUD で利用されていた**旧サーバーの DNS レコードは引き継がれません。**

新サーバーの DNS へ切り替えたタイミングで、新サーバーのデフォルトの IP アドレスなどの値が適用されます。

つきましては、任意のレコードを追加してご利用されている場合は、DNS 切り替え後に任意のレコードを追加していただく必要がございますので、あらかじめご了承ください。

【メインドメイン以外のマルチドメインについて】

メインドメイン以外のドメインはにつきましては、DNS レコードに旧サーバーの IP アドレスが設定されています。お手数ではございますが、お客さまご自身で新 IP アドレスへ変更をお願いいたします。

なお、サブドメインのみ別サーバーで Web サイトを運用されている（サブドメインの A レコードの接続先が他社）場合や、メールサーバーのみ別のサーバーを利用されている（MX レコードの接続先が他社）などの場合には、DNS 切り替え後、できるだけ速やかにレコードを追加していただくと、一時的に接続が行えなくなりますので、ご注意ください。

※事前に、旧サーバーのレコードを PC 上のテキストエディターや、文書作成ソフトなどに控えていただくことをお勧めいたします。

◆ DNS 切り替えまでの流れ



詳細な DNS レコード追加の手順につきましては、

- [5-2. DNS（ネームサーバー）の切り替えについて](#)
- [5-3.DNS レコードの編集](#)
- [5-4. DNS レコードの新規追加・削除](#)
 - ↳ [TXT レコードの追加について（SPF 値を追加する）【必須】](#)
- [5-5.IP アドレスを付け替える（Plesk をご利用のお客さま）](#)

をご覧ください。

◆ 弊社以外でドメインを管理されているお客さま

DNS の切り替えは、ドメインを管理されているサービスのみで変更が可能です。

他社管理のドメインをご利用のお客さまは、管理をされているサービスにて、新サーバーのネームサーバーへご変更をお願いいたします。

新サーバーのネームサーバー名	
プライマリネームサーバー	ns1.rsmgserver.net
セカンダリネームサーバー	ns2.rsmgserver.net

◆ 他社 DNS をご利用中のお客さま

DNS の切り替え（修正）は、ご利用中の DNS ホスティングサービスにて行えます。

他社 DNS をご利用のお客さまは、管理をされているサービスにて、各 DNS レコードの値を、新サーバーの IP アドレスやホスト名へご変更をお願いいたします。

新サーバーの DNS レコードの確認方法は『[5-3. DNS レコードの編集](#)』をご確認ください。



◆ 新サーバーのDNS（ネームサーバー）へ切り替える ※弊社で管理中のドメイン

- STEP 1. [ドメイン] > 「対象ドメイン」をクリック。
- STEP 2. 「DNS ホスティング」内の [アクション] > [他のネームサーバーへ切り替え] をクリック。
- STEP 3. 下図のポップアップが表示されますので、[OK] をクリック。



- STEP 4. 新サーバーのDNSへ切り替えを完了すると、新サーバーのデフォルトのDNSレコードが反映され、新サーバーへの接続が開始します。

新サーバーのネームサーバー名	
プライマリネームサーバー	ns1.rsmgserver.net
セカンダリネームサーバー	ns2.rsmgserver.net

◆ 新サーバー以外のDNS（ネームサーバー）へ切り替える場合

[他のネームサーバーへ切り替え] をクリックし、切り替えたいネームサーバー名を入力 [OK] をクリックします。

※ネームサーバーは2つ以上ご指定ください。



5-3. DNSレコードの編集

旧サーバーで、お客さまが独自に追加・編集されていたレコード情報も新サーバーに引き継がれています。

新サーバー移行後のレコード編集方法につきましては、以下の手順で編集ができます。

- **STEP 1.** 【ドメイン】 > 「対象ドメイン」 > 「DNS ホスティング」内の
【アクション】 > 【DNS レコードを管理】 をクリック。



- **STEP 2.** 下図のページが開きます。ドメインに設定されている DNS レコード・ゾーン情報をご確認ください。



レコードタイプ	ホスト名	優先値	データ (ゾーンの値)	TTL 値
MX		10	mail.ドメイン名	3600
A	mail.ドメイン名	-	mx 用 IP アドレス	3600
A		-	WEB サーバー用 IP アドレス	3600
CNAME	www.ドメイン名	-	WEB サーバー用 IP アドレス	3600
CNAME	ftp.ドメイン名	-	FTP 用 IP アドレス	3600
CNAME	webmail.ドメイン名	-	メールサーバー用 IP アドレス	3600
TXT	※任意でご登録可能です		※任意でご登録可能です	

5-4. DNSレコードの新規追加・削除

DNS レコードを新規追加・削除・変更される場合は、入力される項目に間違いがないか、ご確認ください。

新たにレコードを追加する場合は、**【新しいレコードの追加】** をクリックして、レコードを追加します。

※設定するレコードタイプにより、入力フォームの種別が異なります。



RapidSite のサーバーで設定できるレコードをまとめましたので、以下をご確認ください。

レコードタイプ		レコードのタイプを選択できます。
タイプ	値（フォーム名称）	選択可能なレコードタイプは以下です。
NS	ネームサーバー	ドメインのDNS サーバー名を指定します。
A	IPv4 アドレス	ホスト名（www.ドメイン名など）のIP アドレス（IPv4）を指定します。
AAAA	IPv6 アドレス	ホスト名（www.ドメイン名など）のIP アドレス（IPv6）を指定します。
MX	メールエクスチェンジャ	ドメインのメールサーバー名を指定します。
CNAME	正規名	ホスト名（www.ドメイン名など）のエイリアス（別名）を指定します。
TXT	テキストデータ	ホスト名（www.ドメイン名など）のテキスト情報を指定します。 なりすましメールを防ぐために使われる「SPF レコード」などを入力できます。
SRV	※右記参照	ドメインで提供されるサービスの詳細などを指定します。 サービスプロトコル/優先度/重み/サーバーのホスト名/サーバーポート
ホスト（オプション）		例) www.ドメイン名 など。 フォームへの入力時は、ドメイン名の前までを入力してください。
優先度		MX レコードが複数ある場合、優先度の設定が必須です。 ※数値が低ければ優先度が高くなり、数値が高いと優先度が低くなります。
TTL（オプション）		TTL(Time to live)を設定できます。デフォルト値は 3600 です。

◆ TXTレコードの追加について（SPF 値を追加する）【必須】

【メールサービスをご利用のお客さま】

新サーバーでは、セキュリティ対策として、リレーサーバー方式を採用し、メールを配送する方式を採用しております。

お客さまのメールサーバー → 弊社リレーサーバー → 宛先サーバー

しかしながら、新サーバーの初期設定のDNSレコードには、リレーサーバーを使用するための「SPFレコード」が設定されておりません。そのため、お客さまにて追加をしていただく必要がございます。

※SPF (Sender Policy Framework) とはメール送信元のドメインが詐称されていないかなどを検査するしくみです。

安全にメールサービスをお使いいただくためにも、p.35『[新サーバーのDNS（ネームサーバー）へ切り替える](#)』を行われた後に、以下の手順でTXTレコード（SPF）を追加設定していただけますようお願いいたします。

- STEP 1. [ドメイン] > [対象ドメイン] > [DNS ホスティング] 内の [アクション] > [DNS レコードを管理] をクリック。

- STEP 2. [新しいレコードの追加] をクリック。

- STEP 3. レコードタイプから [TXT] を選択し、以下の情報を入力し [OK] をクリック。

レコードタイプ	TXT
テキストデータ	v=spf1 +a:relay.poa.svr4u.net -all
ホスト（オプション）	空欄 お客さまドメイン名
TTL（オプション）	空欄



新しいレコードの追加

レコードタイプ
TXT

テキストデータ

ホスト（オプション）
お客さまドメイン名

TTL（オプション）
秒
デフォルト値（3600 秒）を使用するには空欄にしてください

キャンセル

OK

5-5.IPアドレスを付け替える（Pleskをご利用のお客さま）

新サーバーへ移行後、Plesk の URL は

「<https://新サーバーのIPアドレス:8443/>」

となりますが、**Plesk 内の設定では紐づいている IP アドレスは、旧サーバーの IP アドレスのままとなっております。**

Plesk 上で旧サーバー IP アドレスが紐づいた状態になっている場合、DNS を切り替えられた後も Web サイトへのアクセスなどが正常に行きません。そのため、VPS 各プランで「Plesk」を利用されているお客さまは、新サーバー移行後の Plesk へログイン後、新サーバーの IP アドレスを読み込みサーバーに紐づけられている IP アドレスを付け替えていただく必要があります。

※お使いの Plesk のバージョンにより手順が異なりますのでご注意ください。



◆ Plesk12 で IP アドレスを付け替える

- STEP 1. [ツールと設定] > [IP アドレス]
または [サーバ] > [IP アドレス] をクリック。
- STEP 2. [IP 再読み込み] をクリック
- STEP 3. 旧サーバーのグローバル IP アドレスを選択して
[修復する] をクリックし、修復完了後に旧 IP アドレスを選択して [削除] をクリック。

◆ Plesk11 で IP アドレスを付け替える

- STEP 1. [ツールと設定] > [IP アドレス]
をクリック。
- STEP 2. 旧サーバーの IP アドレスのみが
表示されます。
- STEP 3. [IP 再読み込み] をクリック
- STEP 4. [修復する] をクリックし、
修復完了後に旧 IP アドレスを
選択して [削除] をクリック。



※ [修復する] をクリックする前に旧サーバーの IP アドレスを削除されると、Nginx の設定ファイルに旧サーバー IP アドレスが残ったままになるため、エラーが発生いたしますのでご注意ください。

◆ Plesk12、Plesk11 IP 付け替え時のトラブルシューティング

◆ Plesk12 で IP 再読み込み後に下記のエラーが表示される場合

エラーメッセージ内「[こちら](#)をクリックしてすべての構成ファイルを生成してください」の「[こちら](#)」をクリック。

❗ Apache ウェブサーバの新しい構成ファイルは作成されませんでした。構成テンプレートにエラーがあります。nginx: [emerg] bind() to :443 failed (99: Cannot assign requested address) nginx: configuration file /etc/nginx/nginx.conf test failed。詳細なエラーの説明がメールに送信されました。問題を解決してから、[こちら](#)をクリックして破損した構成ファイルをもう一度生成するか、[こちら](#)をクリックしてすべての構成ファイルを生成してください。

◆ Plesk11 で IP 再読み込みをクリック後、 のエラーが表示される場合

■ STEP 1. 以下のコマンドを実行

```
/usr/local/psa/bin/reconfigurator.pl ipaddresses.map
```

※実行すると ipaddresses.map という以下のような内容のファイルが生成されます

```
# You should edit IP addresses, netmasks and interfaces to reflect your  
# future settings. If you don't want the IP to be changed - leave it untouched,  
# comment out it's line or remove entire line from the file.  
venet0:125.X.XXX.XXX 255.255.255.255 -> venet0:125.X.XXX.XXX 255.255.255.255
```

■ STEP 2. IP アドレスの書き換え

※矢印の右側に記載されている IP アドレスを、移行先の IP アドレスとサブネットに変更します。

※サブネットは **255.255.252.0** を指定します。

```
# You should edit IP addresses, netmasks and interfaces to reflect your  
# future settings. If you don't want the IP to be changed - leave it untouched,  
# comment out it's line or remove entire line from the file.  
venet0:125.X.XXX.XXX 255.255.255.255 -> venet0:153.XXX.XXX.XX 255.255.252.0
```

■ STEP 3. 以下のコマンドを実行

※実行すると書き換えた ipaddresses.map ファイルに基づいて、Plesk の設定が書き換えられます。

```
/usr/local/psa/bin/reconfigurator.pl ipaddresses.map
```

■ STEP 4. Plesk 上で確認し、不要な IP アドレス設定が残っている場合（残っていない場合は本手順は不要です） 以下のコマンドを実行します

```
/usr/local/psa/bin/ipmanage --remove 不要な IP アドレス
```

◆ Plesk11 で「修復」をせずに旧 IP を削除してしまった場合

Webserver Configuration Troubleshooter 拡張モジュールを設定します。

■ STEP 1. <http://autoinstall.plesk.com/extensions/packages/configs.zip> から拡張モジュールをダウンロードします。

■ STEP 2. Plesk にログイン

■ STEP 3. [サーバ] > [拡張タブ] > [拡張管理] > [拡張機能の追加] に進みます。

■ STEP 4. [新しい拡張をアップロード] から、STEP 1 で入手したファイルを選択してアップロードします。

◆ IP 付け替え後、nginx が起動しない場合

IP 付け替え後、nginx が起動しない場合、nginx の設定ファイルに旧 IP アドレスが記述されていることが考えられます。以下コマンド等で旧 IP アドレスが記述されたファイルを特定し、新 IP アドレスへ書き換えをお願いいたします。

■ STEP 1. 以下のコマンドを実行

```
find /etc/nginx/* -type f -print0 | xargs -0 grep 旧 IP アドレス
```

■ STEP 2. nginx の設定を編集した後は、以下のコマンドにて編集内容を反映し、Plesk から「リバースプロキシサーバ (nginx)」を停止・起動してください。

```
/usr/local/psa/admin/bin/nginxmng --enable
```

■ STEP 3. 正常に nginx が起動した後も Plesk 上にエラーメッセージが表示される場合、以下のコマンドを実行し、状況が改善するか確認をお願いいたします。

```
/usr/local/psa/admin/bin/httpdmng --reconfigure-all
```

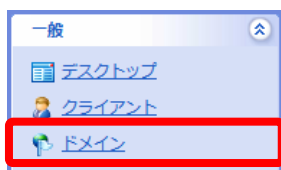
◆ Plesk8 で IP アドレスの紐づけを変更する

- STEP 1. システム メニュー内【サーバ】をクリック。
- STEP 2. システム 【IP アドレス】をクリック。

- STEP 3. ツール 【IP 再読み込み】をクリック。

※IP 再読み込み を実施すると、IP アドレスの一覧に
新 IP アドレスとローカル IP アドレスが表示されます。

- STEP 4. 一般 メニュー内【ドメイン】をクリック。



- STEP 5. サービス 「ホスティング（ドメインは…」
の下部に表示される【ドメイン】をクリック。
- STEP 6. IP アドレス のプルダウンから、
再読み込み後に表示された新 IP アドレスを選択

以上で IP アドレスの紐づけの変更は完了します。

なお、Apache を再起動することで紐づけの変更が完了となる
場合がございますので、あらかじめご了承ください。



6. お支払い方法の設定について **【必須】**

「EX-CLOUD」のシステム刷新にともない、お支払い方法の金融機関・手順などが変更となります。

注意事項を必ずお読みいただき、ご希望のお支払い方法や手順をご確認ください。

◆ お支払い方法についての変更点・注意事項

お支払い情報は引き継ぎされないため、契約満了日の前日までにマイアカウントページ上で設定いただく必要がございます。

新システムへ移行後は、**「コンビニ払い」が追加**となります。

お支払い方法は「クレジットカード払い」、「銀行振込」、「コンビニ払い」の3種類となりますので、ご希望のお支払い方法をご確認ください。

	クレジットカード払い	ご利用可能なクレジットカードは、VISA、Master、JCB、AmericanExpress です。 ※海外のクレジットカードはご利用いただけません。あらかじめご了承ください。
	銀行振込	「サーバーサービス / ドメイン 更新ご請求に関するお知らせ」メールにて弊社指定の口座をご連絡いたします。 ご請求メール送信日より7日以内にお振り込みください。
	コンビニ払い [NEW]	セブンイレブン/ローソン/ファミリーマート/ミニストップ/セイコーマートをご利用いただけます。

◆ 振り込み先のご変更について

お振り込み先が「三井住友銀行」から **「GMO あおぞらネット銀行」への振り込みに変更**となります。

移行前	移行後
三井住友銀行	GMO あおぞらネット銀行

移行後、弊社より新しいお振り込み情報を記載したメールが送信されますので、ご案内内容のご確認をお願いいたします。

※移行後、初めてご請求する更新請求分より、お振り込み先が「GMO あおぞらネット銀行」に変更となります。

お振り込み口座情報につきましては、新しいマイアカウントページにてご確認いただけます。

※移行後に誤って「三井住友銀行」の旧口座へお振り込みされた場合は、ご返金となります。

「GMO あおぞらネット銀行」への振り替えを行えませんがあらかじめご了承ください。

なお、ご返金時の振込手数料はお客様負担となります。

◆ クレジットカードでのお支払い

- STEP 1. アカウント > [支払方法] の順にクリック。
- STEP 2. [新しい支払方法を追加する] をクリック。
- STEP 3. 「新しい支払い方法を追加する」ウィンドウ内の
[続ける] をクリック。
- STEP 4. クレジットカード情報の入力画面が表示されますので、
以下の項目をご入力ください。

※システムの仕様上、「合計金額：¥1」と表示されますが、実際には
請求されませんのでご安心ください。

カード会社	VISA / Master / JCB / AMEX
カード番号	半角数字のみ ハイフン抜きでご入力ください
セキュリティコード	カード裏面に記載の3桁の数字
有効期限	月 / 年 の順にご選択ください
このカードを保存して、次回からの 支払いに使用します	クレジットカードをご登録後、自動更新を ご希望の場合は、有効にしてください

支払方法

契約を更新し、自動更新請求書に対して支払うには、自動支払を有効化してください。

オンライン支払方法

新しい支払方法を追加する

アカウントにオンライン支払方法が保存されていません。

カード情報

カード会社

カード番号

セキュリティコード

有効期限 月 年

※このカードを保存して、次回からの支払いに使用します

- STEP 5. クレジットカード情報をご入力後、
[送信] をクリック。

◆ 銀行振込（GMO あおぞらネット銀行）でのお支払い

お支払い方法をご登録後、弊社のご契約メールアドレス宛てに、以下の件名でメールが届きます。
本文内に振り込み先情報が記載されておりますので、ご確認のうえ、お支払いをお願いいたします。

■ 件 名：【重要】[GMO クラウド] お振り込み先口座情報のお知らせ

なお、ご請求メールなどを削除された場合は、以下の手順で弊社指定の口座情報をご確認ください。

- STEP 1. マイアカウントページ [アカウント] > [支払方法] の順にクリック。
- STEP 2. 「銀行振込 GMO あおぞらネット銀行」のメニュー内をご確認ください。

金融機関名（銀行名）	GMO あおぞらネット銀行
支店名（支店番号）	支店名は「半角カナ」で表示されます。 カッコ内の3桁の番号が支店番号です。
口座種別	普通口座
口座番号	口座番号は、お支払い登録ごとに変わります。 お間違いないようご注意ください。

銀行振込 GMO あおぞらネット銀行 支店()
(普)

自動支払い
✔ オン

アクション▼

◆ コンビニエンスストアでのお支払い

お支払い方法をご登録後、弊社のご契約メールアドレス宛てに、以下の件名でメールが届きます。
本文内に、「ご指定のコンビニエンスストア」、「ご注文内容」、「お支払い情報」、「お支払い方法」が
記載されておりますので、ご確認のうえ、お支払いをお願いいたします。

■ 件 名：コンビニ決済依頼完了のお知らせ

上記のご請求メールがご確認いただけない、誤って削除されたなどの場合は、弊社[サポート窓口](#)までお問い合わせください。

7. ご契約について【必須】

弊社でのご契約内容や請求履歴などもマイアカウントページの【アカウント】のメニューよりご確認ください。

マイアカウントページの【アカウント】では、以下のメニューをご用意しております。

 注文と請求書	お客さまへのご請求内容や、決済の履歴が確認できます。 お客さまのお支払い状況全般は、このメニューからご確認ください。
 契約一覧	弊社でのご契約中の「プラン」「ドメイン」などを一覧で確認できます。 ご契約更新や解約のお手続きも、このメニューから行えます。
 支払方法	クレジットカードの情報を登録、または削除できます。 クレジットカード支払いのお客さまは、自動支払い（自動更新）の有効化・無効化もこのメニューから行えます。 ※お支払い方法をクレジットカードから銀行振り込みに変更される場合は、クレジットカード情報を削除してください。
 アカウントプロフィール	お客さまのご契約情報（連絡先・住所・電話番号・法人情報）を確認および変更できます。 ※「管理者連絡先」「請求連絡先」「テクニカルな連絡先」「法人名」など
 アクションログ	ご契約のサーバーに登録されているすべてのユーザーが実行したアクション履歴をご覧になれます。  と同じ機能です。

7-1. ご契約内容の確認方法

マイアカウントページ【アカウント】 > 【契約一覧】から、現在ご契約中の「サーバープラン」、「ドメイン」、「オプション」が一覧で確認できます。

各プラン名・ドメイン名・オプション名をクリックして、その詳細をご覧になれます。

契約一覧				
合計 アイテム  検索パネルを表示				
ID ▲	タイトル	ステータス	ホットアクション	サービス
	に期限切れ	● アクティブ		WebHosting Plesk
	に期限切れ	● アクティブ		ドメイン
	に期限切れ	● アクティブ		WebHosting Plesk
	に期限切れ	● アクティブ		ドメイン

7-2. ご契約更新・解約方法について

『7-1.ご契約内容の確認方法』で表示された一覧から、更新または解約を希望される「プラン」、「ドメイン」、「オプション」をクリックして「契約情報」を表示します。



◆ 更新・自動更新を行われる場合

手動で更新される場合は、画面内の【更新】をクリックします。

更新請求が発行されますので、内容をご確認のうえ、期限内にお支払いをお願いいたします。

なお、お支払い方法をクレジットカードで行われるお客さまは、【自動更新を有効化】をクリックして、自動更新請求の設定が行えます。自動更新を選択すると、毎月、契約有効期限の10日前に自動的にクレジットカードで決済されます。

◆ 解約を行われる場合

現在ご契約中のプランなどを解約する場合は、【自動更新を無効化】をクリックして、自動更新請求が発生しないよう設定をお願いいたします。こちらが実質の解約手続きとなります。

※ドメインの解約はお客さまご自身で行えない場合がございます。他社へドメインを移管される際は、

[弊社サポート窓口](#)へお問い合わせください。

※プラン・ドメインの解約はそれぞれで行っていただく必要がありますので、ご注意ください。

7-3. お客さま情報変更の手続き方法

- STEP 1. マイアカウントページ【アカウント】 > 【アカウントプロフィール】をクリック。
- STEP 2. アカウント設定内の【編集】をクリック。
- STEP 3. 変更される項目の情報を修正し【OK】をクリック。

※ご登録住所を変更される場合は、

「住所」内の【編集】をクリックして、
情報を変更してください。

The screenshot shows the 'アカウント設定' (Account Settings) page. On the left, under 'アカウント設定', there are fields for 'アカウント連絡先' and 'アカウントID'. On the right, under '住所' (Address), there is a field for '日本' (Japan). Both the '編集' (Edit) buttons for these sections are highlighted with red boxes and a hand cursor.

7-4. 請求情報の確認方法

- STEP 1. マイアカウントページ【アカウント】 > 【注文と請求書】をクリック。
- STEP 2. 注文履歴 > ご注文履歴のリストから請求書・領収書を発行されたい注文をクリック。

注文と請求書
注文履歴

合計 アイテム 🔍 検索/パネルを表示

番号	説明	合計	日付	ステータス
SO	1年の プランの注文	¥ 10,670	2019年4月15日	●完了済み
SO	1年の プランの注文	¥ 10,454	2019年4月15日	●完了済み
SO	1ヶ月の プランの注文	¥ 2,354	2019年4月15日	●完了済み

- STEP 3. 「注文詳細」のページの「アイテム」の項目をご確認ください。

アイテム

説明	数量	期間	単価価格	割引	合計価格
ドメイン 1年への登録	1アイテム	1年	¥ 1,480	¥ 0	¥ 1,480
自動更新料金	1アイテム	12ヶ月	¥ 700	¥ 0	¥ 8,400

小計: ¥ 9,880
消費税(8%): ¥ 790
合計: ¥ 10,670

7-5. 請求書（領収書）の発行方法

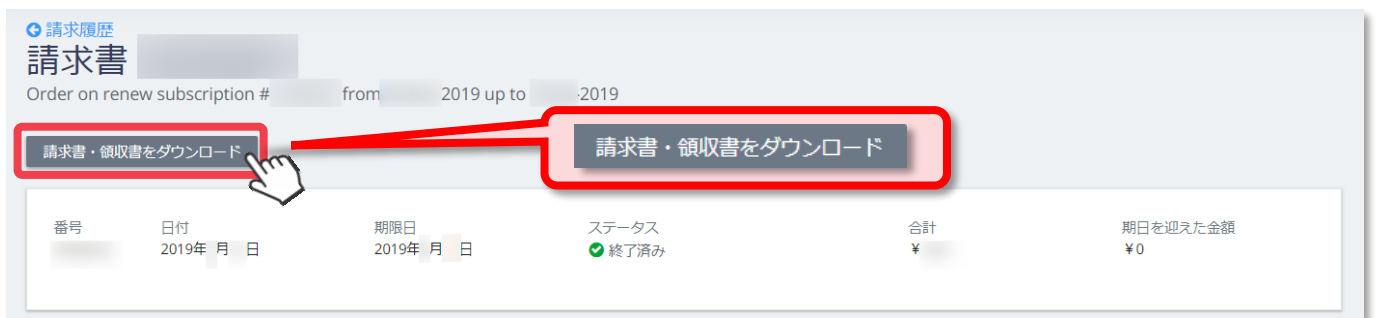
- STEP 1. マイアカウントページ【アカウント】 > 【注文と請求書】 > 【請求履歴を表示】をクリック。



- STEP 2. 注文履歴 > ご注文履歴のリストから請求書・領収書を発行されたい注文をクリック。



- STEP 3. 【請求書・領収書をダウンロード】をクリック。

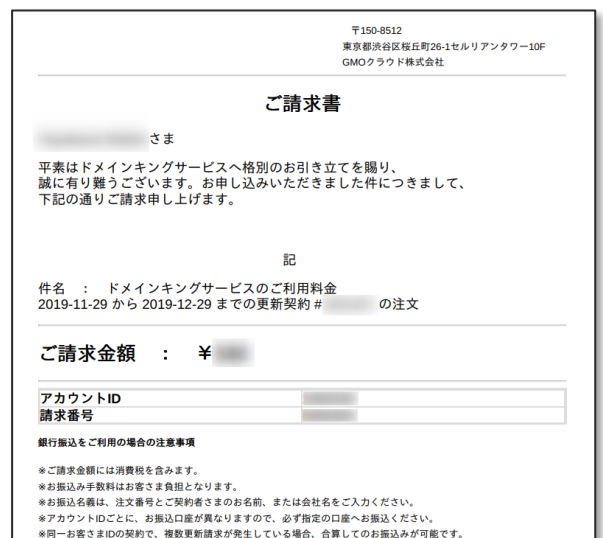


- STEP 4. 「請求書 *****.pdf」 ※*****は請求書番号

の名称のPDF ファイルがダウンロードされますので、ご査収ください。



以上で請求書の発行は完了です。



RapidSite

<https://www.rapidsite.jp/>

サーバー移行についてのお問い合わせ窓口



EX-CLOUD
をご利用のお客さま

[お問い合わせフォーム](#)

※【ご依頼の概要】サーバー移行について をご選択ください

電話 : 03-4233-7512

営業時間 : 平日 10:00~18:00 (土・日・祝日を除く)

サーバー移行に関する問い合わせは **1** 番

技術的、料金や解約に関する問い合わせは2 番